

邑南町立石見中学校

校舎改築基本構想・基本計画

令和2年4月

邑南町教育委員会

目次

第1章	はじめに	1
1.	計画策定の趣旨	1
2.	石見中学校校舎改築検討にかかる実施体制	2
第2章	石見中学校の現状	3
1.	略歴	3
2.	石見中学校の概要	4
第3章	今後の方向性	8
1.	生徒数の将来予測	8
2.	必要事項の確認	9
3.	周辺環境の状況	10
4.	防災上の位置付け	11
第4章	学校改築にかかる方向性	12
1.	改築の必要性	12
2.	将来のチャンスと可能性を広げる教育方針	12
第5章	改築基本構想	15
1.	基本理念	15
2.	基本的な方向性	16
第6章	改築基本計画	17
1.	生徒・教職員・地域住民の安全・安心・安定に配慮した学校づくり	17
2.	学びを育て、多様な交流を創出する学校づくり	18
3.	だれにとっても居心地よく、のびのび過ごせる学校づくり	19
4.	地域と協働する開かれた学校づくり	20
5.	環境や風土に配慮した学校づくり	21
第7章	改築に向けた業務の進行	22
1.	主な日程の予定	22
2.	工事期間中の生徒への配慮	22
第8章	関係者などからの主なご意見	23
1.	児童・生徒からの意見	23
2.	教職員からの意見	24
3.	保護者・地域住民からの意見	26
4.	地域住民ワークショップからの意見	27
第9章	資料編	38
1.	石見中学校校舎改築検討委員会の設置要綱	38
2.	石見中学校校舎改築検討委員会名簿	39
3.	計画策定の経緯	40

第1章 はじめに

1. 計画策定の趣旨

近年、教育を取り巻く環境は、少子高齢化、情報化、国際化、経済・産業構造の変化などにより、大きく変化しています。これにより、教育課程においてもさまざまな課題が生じ、現在の社会情勢にふさわしい教育のあり方が求められています。

このような中、国は平成30年に「教育基本計画」を改定し、人生100年時代の新たな時代を生き抜く力を育む学校教育を目指すこととしました。

施設面においては、新たな学習指導要領や社会状況の変化等に対応するため、「学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議」がまとめた、「これからの小・中学校施設の在り方について」の中で充実すべき施設機能として、①新学習指導要領への対応、②ICTを活用できる施設、③インクルーシブル教育システムの構築に向けた取組、④教職員の働く場としての機能向上、⑤地域との連携・協働の促進、⑥学校施設の機能向上、⑦変化に対応できる施設整備の7項目が提案されています。

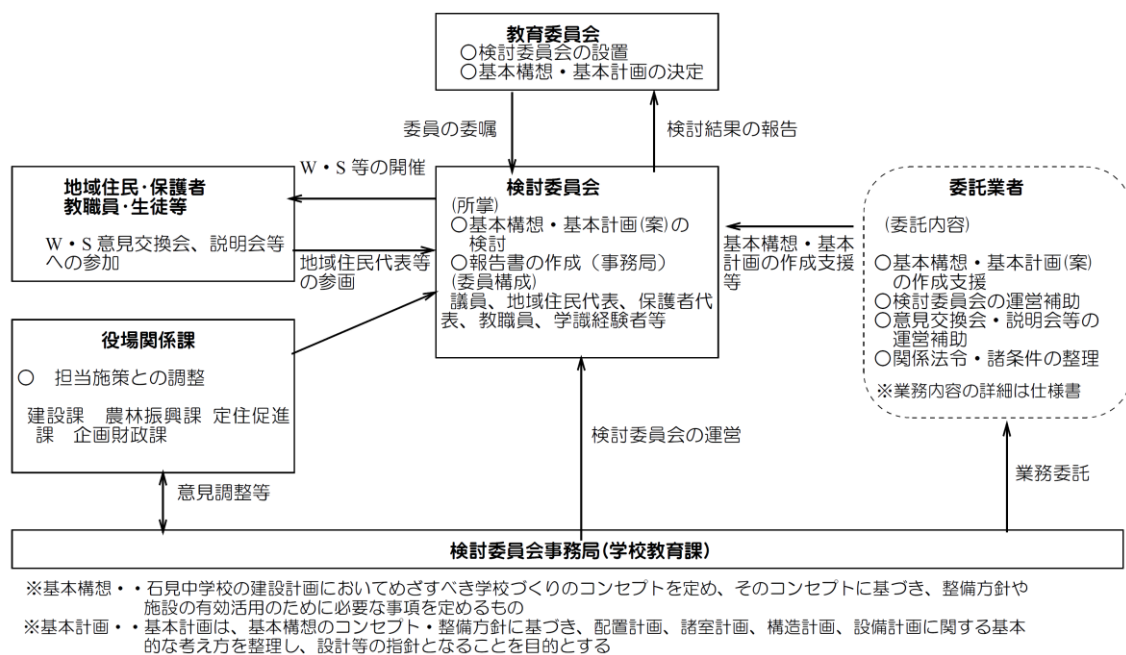
現在の石見中学校校舎は、昭和41年から昭和43年にかけて竣工し50年を越えて使用されていますが、老朽化等による修繕箇所の増加などから、上記の教育内容の変化・充実に向けた対応は困難な状況にあります。

これからの学校施設は、多様な活動・人材に対応するものとして、また社会環境等の変化に対応できるものとして、柔軟性・可変性を持たせる必要があるため、本町では平成31年2月に「石見中学校校舎改築検討委員会」を設置し、学校施設の在りよう等についてアンケート調査やワークショップを開催し検討してまいりました。

その結果をまとめ、学校改築の基本理念・基本的な方向性を示し、校舎整備の早期実現に向けた指針とするものです。



2. 石見中学校校舎改築検討にかかる実施体制



2019年2月

第2章 石見中学校の現状

1. 略歴

昭和40(1965)年9月	矢上中学校、邑智中学校、日貫中学校、日和中学校を 廃止し石見町立石見中学校が発足
昭和41(1966)年6月	校舎1期分竣工（教室棟）
昭和41(1966)年12月	校舎2期分竣工（管理棟）
昭和43(1968)年3月	屋体竣工 4月に新校舎落成式（生徒数531名）
昭和43(1968)年12月	寄宿舍冠山寮竣工 開設（寮生205名）
昭和52(1967)年7月	プール及び付属棟竣工
平成3(1991)年10月	コンピュータ室、被服室を設置、図書室改造
平成4(1992)年3月	給食センター全館分離新築移転
平成4(1992)年9月	大規模改造により本館防水実施（屋上・外壁）
平成6(1994)年11月	大規模改造により校舎、寄宿舍に暖房設備を導入
平成7(1995)年10月	大規模改造により寄宿舍の外装工事
平成8(1996)年3月	特殊学級整備（一部教室のバリアフリー化）
平成8(1996)年11月	大規模改造により体育館改修工事（床板張り替え）
平成9(1997)年3月	生徒用トイレ改修（洋式便座を一部に取付け）
平成10(1998)年3月	寄宿舍冠山寮閉鎖
平成10(1998)年4月	スクールバス運行開始（日和・日貫方面）
平成20(2000)年9月	公共下水道へ接続
平成22(2010)年3月	電子黒板の導入開始
平成24(2012)年8月	教室棟窓サッシ改修工事
平成25(2013)年8月	管理棟窓サッシ改修工事
平成26(2014)年8月	プール施設の取り壊し
平成27(2015)年3月	寄宿舍冠山寮の取り壊し
平成27(2015)年4月	寄宿舍跡に駐車場を整備
平成28(2016)年10月	体育館改修（バスケットゴール・床）
令和元(2019)年9月	空調設置（普通教室・音楽室等）

2. 石見中学校の概要

(1) 所在地

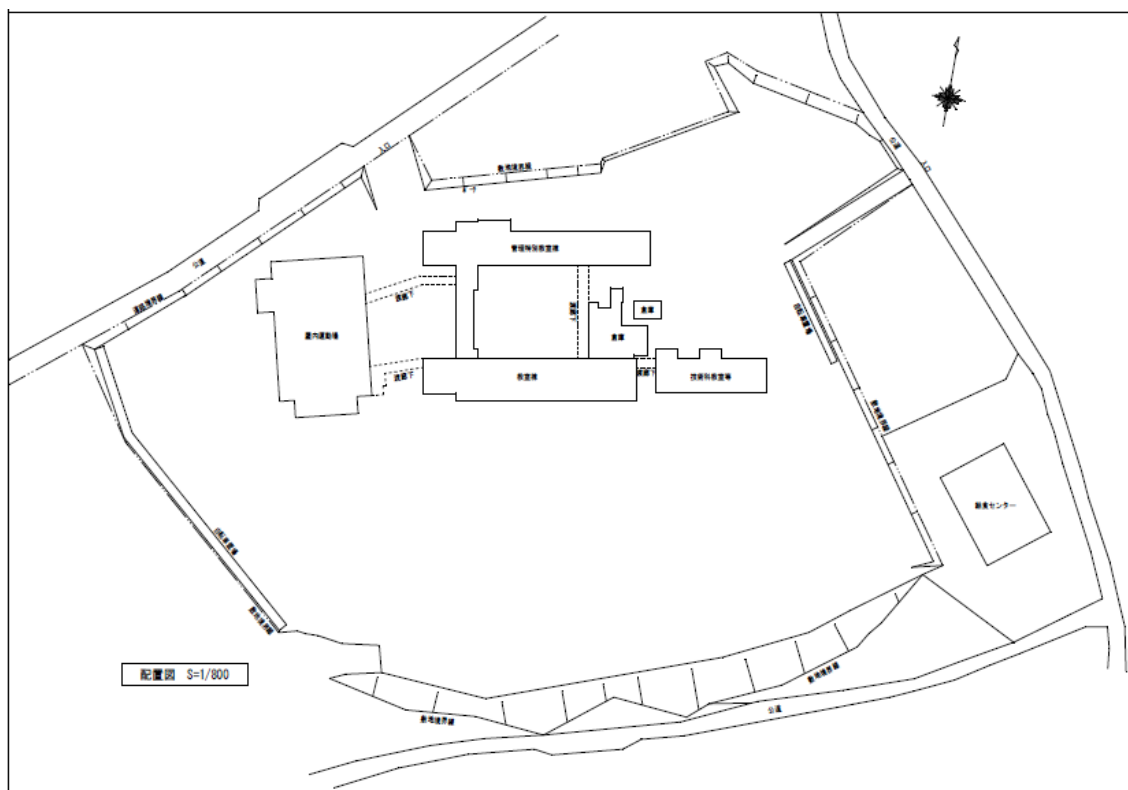
〒696-0102 島根県邑智郡邑南町中野2645

(2) 面積

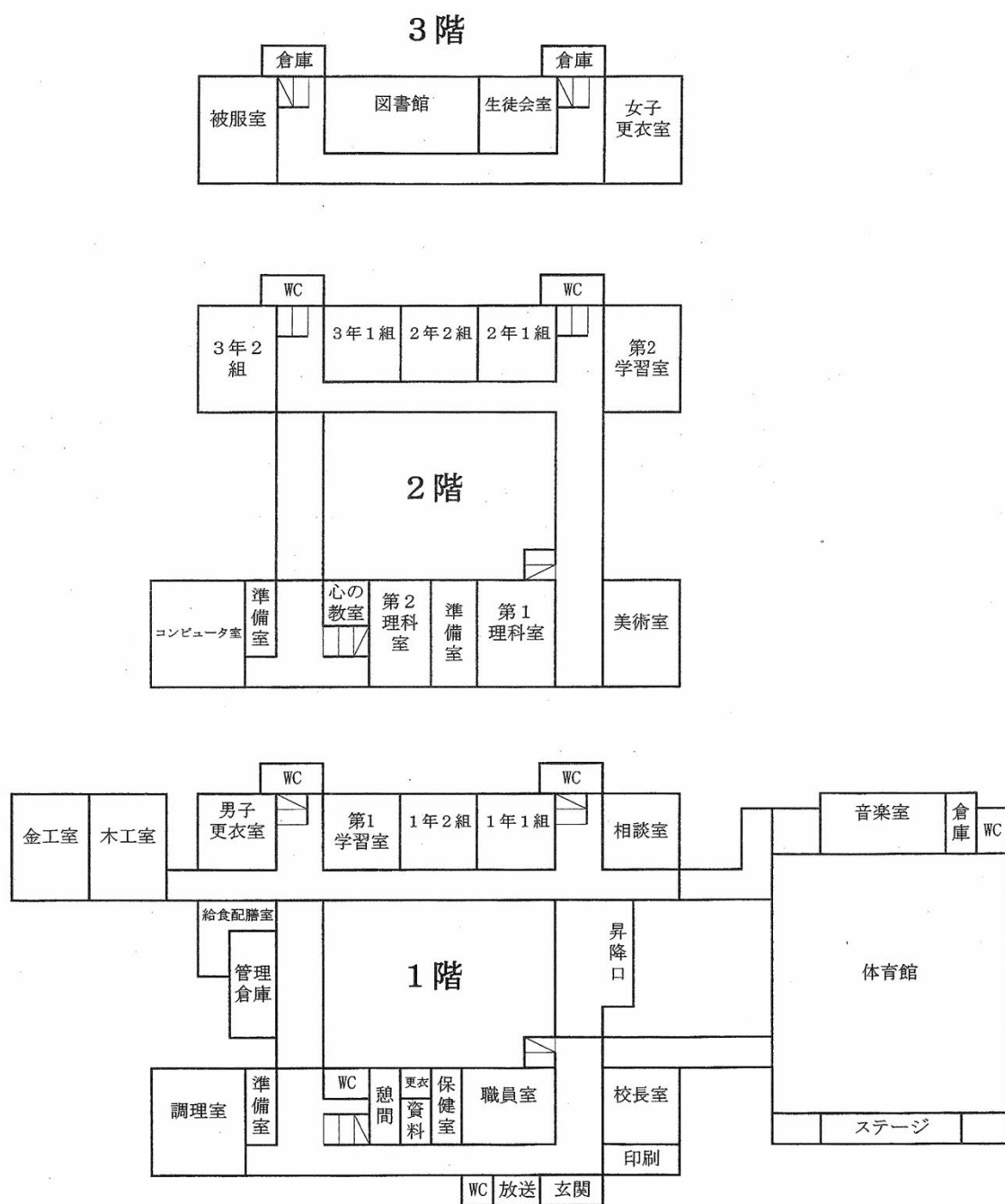
校地	建物敷地保有面積	13,032m ²		
	運動場用地面積	15,487m ²		
	総面積	28,519m ²		
校舎	鉄筋造延面積	3,217m ²	管理棟 2 階建	教室棟 3 階建
	鉄骨造面積（技術室棟）	314m ²	1 階建	
	屋内運動場（鉄筋造、音楽室を含む）	1,111m ²	1 階建	

【校舎配置図】

全景



(3) 施設設備等



(4) 劣化状況と耐震能力

【老朽化状況】

石見中学校は建築後54年経過し、この間、雨漏りによる天井材の破損や外壁のひび割れ等の現象が発生しており、不良箇所等をまとめた学校施設カルテや特定建築物定期調査結果を参考とし目視による実態把握を行い、構造躯体以外の劣化状況を把握し、屋根・屋上・外壁は目視状況により、内部仕上げ、電気設備、機械設備は部位の全面的な改修年からの経過年数を参考にA、B、C、Dの4段階で評価しています。

■ 評価基準による評価【屋根・屋上・外壁】

	評価	基準
	A	おおむね良好
	B	部分的に劣化（安全・機能上、問題なし）
	C	広範囲に劣化（安全・機能上、不具合発生の兆し）
	D	早急に対応する必要がある（安全、機能上問題あり） （躯体の耐久性に影響を与えている） （設備が故障し施設運営に支障を与えている）等

経過年数による評価【内部仕上げ・電気設備・機械設備】

	評価	基準
	A	20年未満
	B	20～40年未満
	C	40年以上
	D	経過年数に関わらず著しい事象がある場合

健全度 総和（部位の評価点×部位のコスト配分）÷60

■ 劣化状況評価

建物名	建築年度	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度 (100点満点)
教室棟	1965	D	C	C	C	D	34
教室棟	1966	D	C	C	C	D	34
管理教室棟	1966	D	D	C	C	D	25
特別教室棟	1967	D	D	C	C	C	18
屋内運動場	1968	C	C	C	C	C	40

※平成30年度邑南町学校施設長寿命化計画より抜粋

【耐震化診断】

昭和56年以前の建築基準法（旧基準）に基づき建設された建物について、耐震性能の診断が必要なことから、平成21年3月に、国が定めた診断基準での現況調査、構造計算及び専門家の工学的判断により耐震診断を実施、教室棟及び管理教室棟、音楽室（体育館内）について基準を満たしています。なお、特別教室棟については、国が定める耐震診断義務に該当しない施設であるため調査外としていますが、建物の耐用年数の観点からも総合的判断が必要です。

■ 施設の耐震化状況

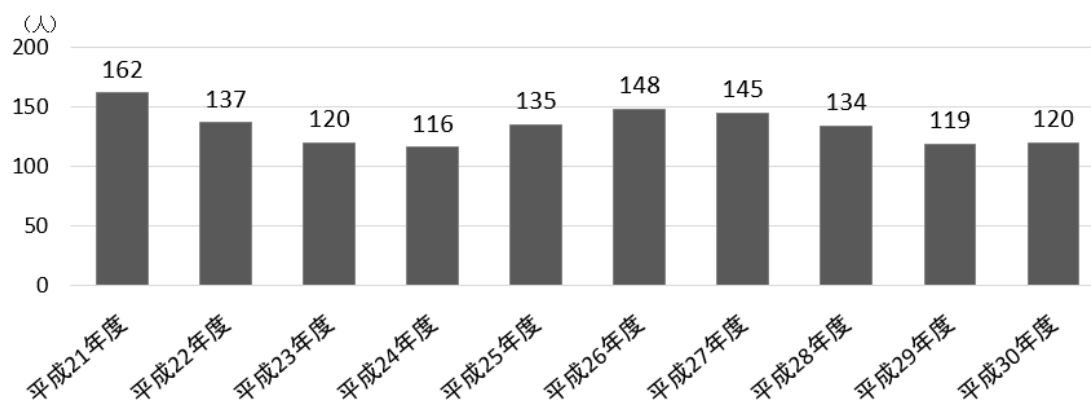
建物名	構造	階数	延床面積	建築年度	耐震	診断年	Is値	圧縮強度(N/mm ²)
教室棟	R C	3	1,462	1965	旧基準	H21	0.67	21
教室棟	R C	3	257	1966	旧基準	H21	0.67	21
管理教室棟	R C	2	1,498	1966	旧基準	H21	0.67	21
特別教室棟	S	1	314	1967	旧基準	—	—	—
屋内運動場	S	1	982	1968	旧基準	H21	1.57	—
音楽室	S	1	170	1968	旧基準	H21	1.57	—

* Is値：建物全体の耐力や粘りを表す構造耐震指標のことで、Is値0.6以上で耐震性能を満たすとされていますが、文部科学省では学校はおおむね0.7を超えることとしています。

国土交通省	倒壊又は崩壊する危険性	文部科学省	倒壊又は崩壊する危険性
Is値<0.3	高い	Is値<0.3	高い
0.3≤Is値<0.6	ある	0.3≤Is値<0.7	ある
Is値≥0.6	低い	Is値≥0.7	低い

（５）生徒数等の推移

石見中学校の生徒数は、平成30年度で120人となっています。近年の少子化の影響はありますが、概ね120人前後で推移しています。

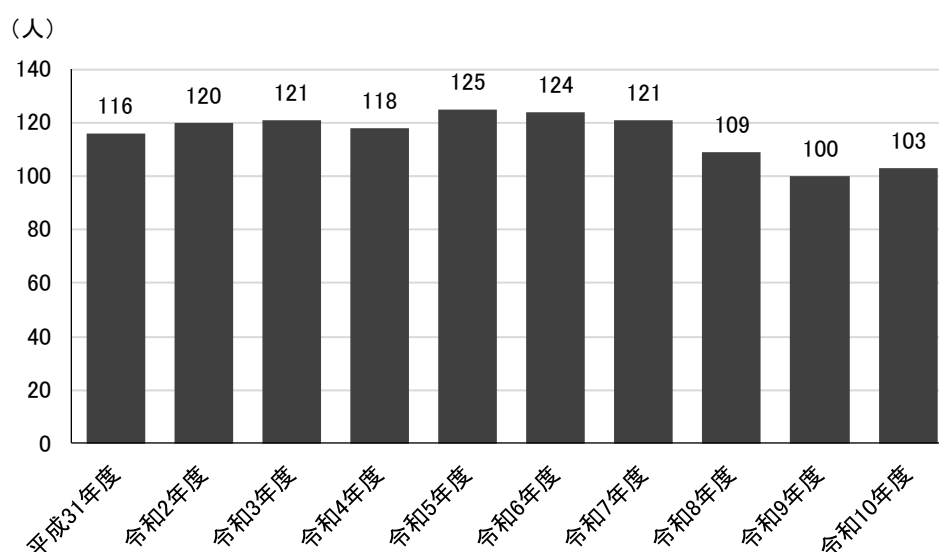


第3章 今後の方向性

1. 生徒数の将来予測

石見中学校の生徒数は、今後10年間で100人あまりに減少する予測となっていますが、概ね120人前後で推移するとみられています。

クラス数については、1学年1学級ないし2学級、特別支援学級が考えられます。なお島根県の基準「35人学級」は、令和3年以降に「中1：35人学級」「中2、中3：38人学級」へ見直す予定であり、対応していく必要があります。



※平成31年度以降の生徒数は、令和元年5月1日現在データによる推計であり、異動による社会増減等は反映していません。

2. 必要事項の確認

(1) 校舎建設に必要な床面積等

校舎に必要な面積については、生徒数の将来予測を踏まえて計画します。なお、国の補助に係る必要面積の算定は以下のとおりとなります。

【根拠法令等】

義務教育諸学校施設費国庫負担法

義務教育諸学校施設費国庫負担法施行令

公立学校施設費国庫負担金等に関する関係法令等の運用細目

【必要面積とは・・・抜粋】

中学校の校舎又は屋内運動場にかかる場合は、当該学校の学級数に応ずる必要面積をいい、これら以外の建物に係る場合は、当該学校の生徒1人当たりの基準面積に当該学校の生徒の数を乗じて得た面積をいう。この場合、学級数に応ずる必要面積は、当該学校所在地の積雪寒冷度、生徒の数、1学級の平均収容数又は学科の種類に応じ、必要な補正を加えた後の面積をいうものとする。

【多目的スペース】

学習用多目的スペース(2～3学級以上の生徒が同時に利用できるようなスペース)

ワークスペース(グループ学習・作品展示・アッセンブリホール(学年行事の場))

その他多目的室(インフォーマルな語らいの場、ギャラリー、談話スペース等)

石見中学校新校舎に係る必要面積(文科省：必要面積早見表より)

学級数 4 特別支援学級 2

条件1 中学校で多目的教室を置く学校

条件2 特別支援学級を置かない場合

条件3 温暖地

令和元年5月1日時点の生徒数をもとに、標準(40人学級)で算出した場合

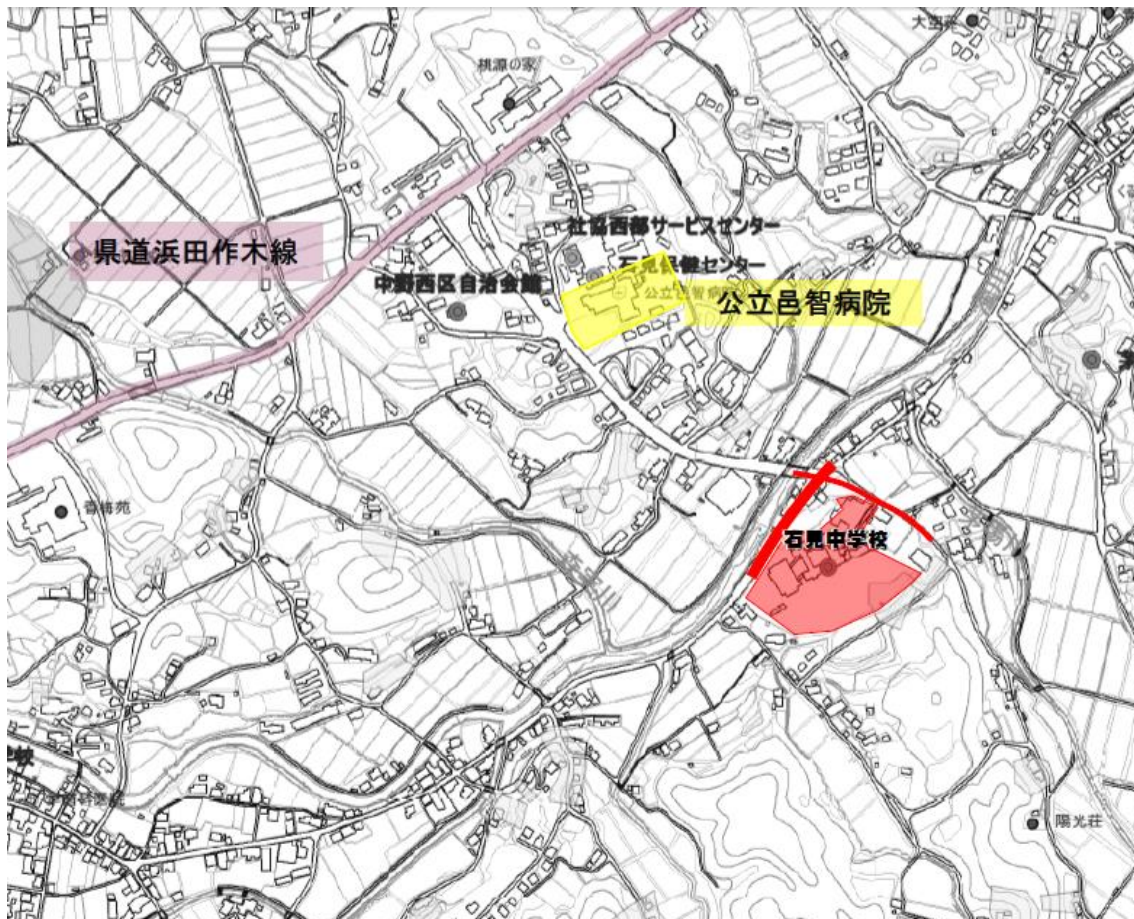
標準学級数		校 舎 面 積		
普通	特別	必要面積	多目的スペース 加算(10.5%)	合計
4	2	2,756	371	3,127
(6)	(2)	3,701	←現行面積(体育館併設音楽室含む)	

() は実学級数

公立学校施設実態調査より

3. 周辺環境の状況

周辺の開発状況では、公立邑智病院の建替え構想及び、町道の改良計画があります。
特に町道改良計画では、現正門の出入口付近の道路が拡幅される予定です。



4. 防災上の位置付け

邑南町指定緊急避難場所として位置付けられており、周辺住民の想定1,430人の避難所となります。

邑南町地域防災計画では、学校用地の一部（給食センター側）が、警戒区域急傾斜（通称：イエローゾーン）となっています。



図面：邑南町ハザードマップより抜粋

島根県 砂防課ホームページ（抜粋）

●土砂災害警戒区域急傾斜（通称：イエローゾーン）

この区域では、災害時の警戒避難体制の整備やハザードマップの作製などを行い、住民の方々が安全に避難できるよう市町村と協力して取り組みを行うこととされています。

第4章 学校改築にかかる方向性

1. 改築の必要性

現状では、雨漏りの発生、外壁や給排水・電気設備等施設全体で老朽化が進んでおり、耐震能力を高めるためにも計画的な建て替えを行う必要があります。

また、生徒数は今後とも100～125人程度と見込まれており、教育の充実を図る上でも最新の学習指導要領に対応する設備投資や、人生100年時代に対応した新たな教育指針にともなう充実が必要になります。

このような理由から、現在よりも安全な環境で、最新の教育が実施できる設備投資を可能とすべく、新たな校舎を建設する必要があります。

2. 将来のチャンスと可能性を広げる教育方針

(1) 関連計画の方向性

①「邑南町第2次総合振興計画」にみる教育の方向性（抜粋）

将来を担う子どもたちにおいては、郷土への誇りや愛着を持ち、将来、本町と一緒に支えられる大人へと成長できるように、ふるさと教育や学習支援の充実を図るとともに、「地域の子どもを地域全体で育てる」の考え方のもと、地域に根差した教育環境を整備します。

- 学校内外での学び合い学習を進めることや生きる力を育むことを前提に認め合い、高め合い、磨き合う場づくりを提供することで、人間としての調和のとれた児童・生徒を育て、この町の将来を担う人材としての人づくりを進めます。
- また、保育所・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の連携を図るための体制づくりを進めるとともに、学び合い学習の授業づくり研修により教師力の向上や、学級づくりを進めます。
- 学校施設の老朽化に対応するため、計画的な改修、改築を図ります。
- 児童・生徒を取り巻く環境の変化を考慮しつつ、すべての子どもたちの人権が尊重される環境づくりを進めます。
- 新学習指導要領の趣旨に基づいた教育活動の充実を図るとともに幅広く学校、家庭、地域が一体となった教育活動を模索します。
- 児童・生徒が教育や相談が受けられるための環境の充実や、学校司書、学習支援員等の配置を継続して実施します。
- 児童・生徒の安全対策として、子ども安全センターを中心に地域の防犯意識の高揚や見守り活動を進めます。
- 人権教育、食育、読書の普及、キャリア教育、外国語指導助手の配置、ICT化への検証などを通じて学校教育の充実を図ります。
- 地域に開かれた学校づくりにより、ふるさと教育の充実を図ります。

- スクールバスについては、安全な運行を基本に、児童生徒の状況に応じた計画的な整備を行います。
- 教職員住宅については、郡内出身の教員割合が少なくなることや学校規模の状況も勘案し整備を進めます。
- 学校給食については、運営の在り方の検証や安全でおいしい給食の供給のための地産地消の推進や危機管理体制等の充実に図ります。

（２）学校施設の目指すべき姿

学校施設の目指すべき姿は、教育行政の方針において示された教育方針を前提としつつ、今後の学校施設整備の取組において実現すべき目標像となります。

① 安全性の確保

学校施設の役割として、災害発生時に避難場所として使用されることもあるため、施設自体の耐震性・安全性に加えて、避難場所として必要な機能・要素も備えるべきか検討する必要があります。本計画のうち11校すべてが指定緊急避難場所として防災計画に記載されていることから、必要な対策を講じていく必要があります。なお、災害時の避難所として機能させる場合には、誰もが利用しやすい環境となることが望まれます。よって日頃から地域に利用される施設づくりが求められています。

② 学習環境の改善

文部科学省の施設整備指針では、教育内容の変化に対応して、多様な学習内容・形態やＩＣＴ化対応などの学習環境を確保し、将来の教育・社会の変化に対応できる柔軟な計画が必要であるとされています。また、児童・生徒の学習及び生活の場として良好な学校生活環境を確保し、障がいのある児童・生徒への配慮や防犯・防災性等の安全性、更には省エネ対応などの環境負荷低減や自然との共生等を考慮した施設環境を形成することが必要とされているため、本町でも可能な範囲で配慮した計画を検討し、学校環境の改善を進めていく必要があります。

③ 地域施設としての学校

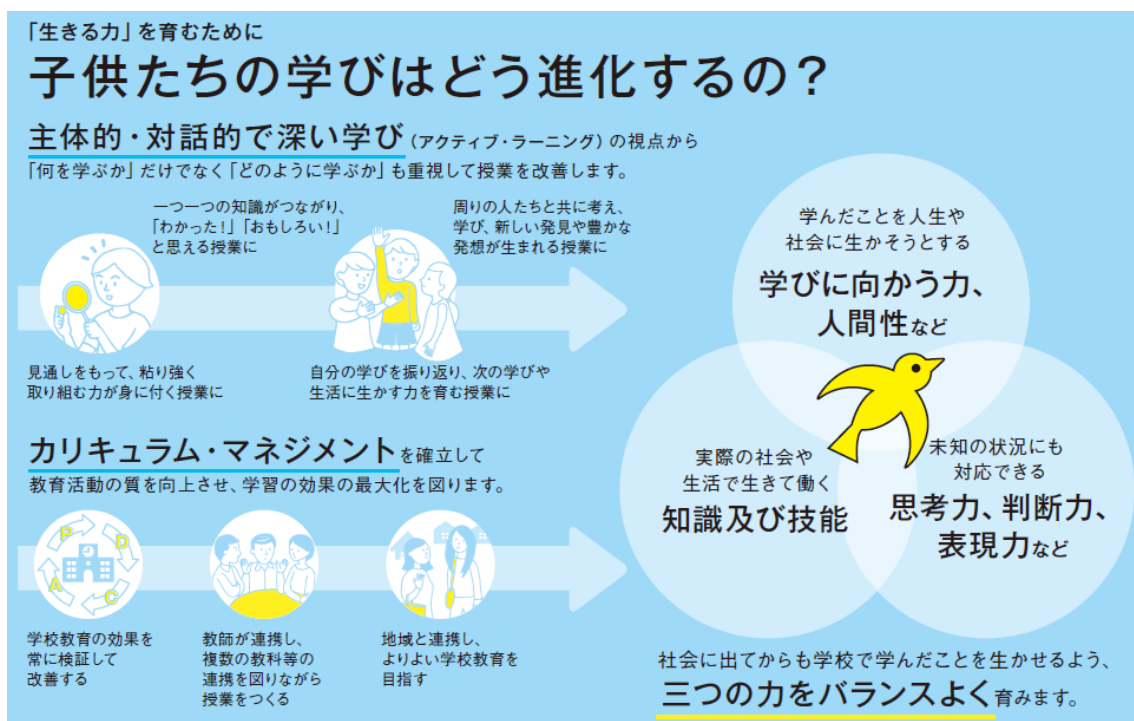
邑南町では町内12カ所にある公民館エリアを中心として地域と連携したまちづくりを進めていますが、学校施設においても地域ぐるみで多くの世代が使えるよう検討が必要です。

今後、町民と行政の十分な議論の場を設けながら、地域コミュニティ・地域施設としての一翼を担うなど、学校施設のさまざまな利活用に向けた取組を推進していくことが求められます。

参考 平成30年度「邑南町学校施設長寿命化計画」

(3) 学び、交流し、^{ひと}人間を育てる、教育方針

文部科学省では、今後の教育について、「一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められる」とし、そのためには、「よりよい学校教育を通してよりよい社会を創るという理念を学校と社会とが共有すること」、そして各校がどのような教育活動を実施していくかを明確にしながら、社会との連携及び協働によりその実現を図っていくという、社会に開かれた教育課程の実現が重要であると示しています。



文部科学省 新しい学習指導要領より

本町においても、少子高齢化、グローバル化が進む社会の中で、次代を担う人材の育成は重要な柱と位置づけ、「地域学校」の取組、地域課題に取り組む「ふるさと学習」、そして将来の生き方や仕事について考える「キャリア学習」を地域・学校とともに協働で取り組むことができる、先進的な教育を実施するための受け皿として、改築する校舎における機能性は、重要な教育ツールの一つとします。

第5章 改築基本構想

1. 基本理念

「学び」・「交流」・「学びの空間」をととし豊かな学力
と人格を育てる学び舎の創造

～ 邑南町の教育方針を具現化できる学び場づくり ～
次代の邑南町を担う人を育てる教育に相応しい校舎づくりをめざす

これからの教育（学び）にふさわしい器
そして、器そのものが学びを誘発するようにつくり

次期学習指導要領では、よりよい学校教育を通してよりよい社会を創るという理念を学校と社会とが共有すること。そしてその実現のためには、社会との連携・協働が必要であること、そして教育の核となる学習のあり方については、「主体的・対話的で深い学び」を創り出すことが求められている。

変化の激しいこれからの社会を生きていく子どもたちにつけておくべき力として、「自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会を創り出す」こととしている。

教育のあり方には、「不易と流行」があるが、本質は変わることはない。

これからのことを考えた学校づくりが重要である。

- 生徒同士（異学年・異校種）が、生徒と教職員が、生徒と保護者・地域住民が交わり合い、学び合うことをとし、人間力を高めることができる学びの空間を創造する。
教室だけに留まらず、学校の空間そのものが学びを誘発する学校環境づくりをめざす。また、これからの教育改革や、社会の進展にも柔軟に対応する必要がある。
- 生徒や教職員にとって学校は、家と同じくらいの時間を過ごす場所であり、安全・安心・安定はもちろんのこと、その場を居心地のよい場所にする。
- 学校が保護者や地域の人にとっても身近で、多様性に配慮した優しく安全な拠り所となるつくりとする。

2. 基本的な方向性

1. 生徒・教職員・地域住民の安全、安心、安定に配慮した学校づくり

～ここで暮らす全ての人の安全・安心・安定を確保する学校づくり～

2. 学びを育て、多様な交流を創出する学校づくり

～学び方・交わり方を変える建築／教科センター方式の採用～

3. だれにとっても居心地よくのびのび過ごせる学校づくり

～ここに居続けたいくなる学校づくり～

4. 地域と協働する開かれた学校づくり

～地域とともにある学校づくりの実現～

5. 環境や風土に配慮した学校づくり

～自然環境を生かし、環境を守る学校づくり～

第6章 改築基本計画

1. 生徒・教職員・地域住民の安全・安心・安定に配慮した学校づくり

～ここで暮らす全ての人の安全・安心・安定を確保する学校づくり～

生徒たちが一日の多くの時間を過ごす場所は、安全・安心・安定を満たすものでなければならない。また、生徒にとって優しく安全な建物は、教職員・保護者・地域住民にとっても優しく安全なつくりとなる。

学校は災害等の避難場所にもなることから、様々な配慮が必要である。

- 地震、風水害等の災害に強い校舎の配置、構造
- 避難所としての運用も考慮し、管理や救護、被災時の食事の提供、停電時の対策、衛生環境などを見据えた機能的な施設配置を検討
- 周辺の交通事情や自転車・バス通学の事も十分に考慮した安全な動線の確保
- 早期に不審者に気づき、対応できるつくりとシステム
- 生徒たちの心の安定を図り、安心して学校生活を楽しむことができる教室や施設の配置
- 多様性に配慮し、生徒をはじめ誰にとっても安心して暮らせる校舎の整備

2. 学びを育て、多様な交流を創出する学校づくり

～学び方・交わり方を変える建築／教科センター方式の採用～

学校生活の中でも一番多くの時間を費やすのが学習時間である。

これから生きていく子どもたちには「主体的に課題を見つけ、様々な他者と協働しながら、答えのない課題に粘り強く向かっていく」力が必要である。

このような力を育てていくためには、これまでの「一斉」か「個」だけの学びではなく、多様な学びの形態や方法・交わりが必要であるとともに学びの空間そのものが子どもたちの学びを誘発するつくりであることが重要である。

また、多様な学び手がいることへの配慮が必要である。

※「教科センター方式」とは、教科の「オープンスペース」を中心にその教科専用の教室が配置され、これとは別に生徒の生活空間である「ホームベース」が配置された建築方式

- 対話や議論などグループ活動しやすい環境づくり
- 図書館をラーニングセンターとして学校づくりの中心にしたつくり
- 従来から特別教室を持つ教科だけでなく、専用の教室を持たなかった教科についても、それぞれに 特色ある 教育環境を整え、教科に対する興味や関心を高めるとともに、学習や授業に対する意欲を育てるための工夫された教室や施設の整備（教科センター方式の採用）
- 学ぶことに興味や関心を持たせるために効果的な資料展示スペースと、教材が充実した学びの場づくり
- 生徒たちの意欲を育て、自己表現ができる場所
- クラスや生徒会、部活動など、時季や天候にも制限されない、やりたいことに熱中できる活動の場づくり
- 異学年での交流が図れる全校が集まれる場づくり
- 特別な支援が必要な生徒にとっても、落ち着いて過ごすことのできる空間整備
- I C T 環境 の充実による将来を見据えた専門性の高い学習環境の整備
- 今後の教育のあり方に、柔軟に対応できる学習空間の整備

3. だれにとっても居心地よく、のびのび過ごせる 学校づくり

～ここに居続けたくなる学校づくり～

登校から始まる生徒の暮らしと学びすべての学校生活を見すえ、学校はもう一つの大切な住居であるとの認識に立つとともに、多様な学び手に配慮した快適な空間づくりをめざす。

また、生徒にとって教室は最も身近で大切な教育環境であることから、教職員にとっても授業づくりや校務など効率的・有効的に進められる環境整備が求められる。

そして、学校で行われる様々な活動が効率よく効果的、また教育的にも考えられた教室や場所の配置が必要である。

- 活動や発表、コミュニケーションのためのスペースも併設されている広く
圧迫感のないエントランスや廊下
- 清潔で、明るく、掃除のしやすい工夫と共に多様性にも配慮し、心落ち着
くトイレ
- 登校から始まる生徒のすべての学校生活を見すえた、快適な空間づくり
- 授業づくりや校務が効率的に進められる環境整備
- 快適な学習環境を保つため、状況に応じて調節できる空調設備
- 集中して学習できるよう、教室ごとの音響に配慮した空間づくり
- 日常の相談やクールダウンができる部屋、個別相談に対応できる相談室
- 生徒たちが自主的に使用でき、自分たちの居場所と感じられるような 学習、
休憩用スペース
- 教職員同士の談話や休息、準備スペースの確保と共に、教材や学習用具な
どを整理できる棚や倉庫等の設置
- 集中とコミュニケーションが両立できるオフィス空間としての職員室
- 授業はもとより生活指導や行事等、移動や作業、生徒の見守りがしやすい
職員室

4. 地域と協働する開かれた学校づくり

～地域とともにある学校づくりの実現～

これから生きていく子どもたちの教育は、学校教育だけで完結するものではなく、多様な人との関わりや活動を通した学びから身につくものであると考えられる。

地域について学ぶだけでなく、「地域から」「地域と」学ぶ視点が益々大切になってくる。また、学校を地域のプラットフォームとし、多様で多彩な地域の大人との出会いや交流の拠点にする。学校を大人の学びの場としても活用することでの生徒たちへの教育効果を大切にしたい。

- 保護者、地域住民等が「地域とともにある学校」づくりの活動などで連携、協働することを支援するための拠点として、会議や作業、資料の保管等ができるスペースの確保、また、教職員以外の地域の支援者が準備したり、休息を取ったりできる場所の確保
- 地域の人と一緒に学んだり、学び直したりできるなどの生涯学習にも活用でき、地域学習の拠点となりうるよう、生徒・教職員以外の利用者が立ち入るエリアや出入りの管理ができる施設等の整備（人の出入りや立入り範囲の管理、教室・職員室等のセキュリティ対策など）
- 学校と地域との交流を促進し、積極的な行事への参画や、学校活動への理解を深めるため、学校内外の情報や活動等の接点となる設備（懸垂幕が可能な場所、学外向け情報スペースなど）
- 生徒の安全に配慮しつつ、利用しやすい駐車スペースの確保

5. 環境や風土に配慮した学校づくり

～自然環境を生かし、環境を守る学校づくり～

学校は、地域の拠点でもあることを考え、外壁やデザインなど地域の風景に馴染むものが望ましい。

そして、高温多湿や降雪などの地域の気候や温暖化が進んで行くこれからを考えた建築や環境整備が求められる。

また、修繕・修理が行いやすく、管理する上での配慮が必要である。

- 人口減少や集約化、効率化、一貫化などが望まれる時代にも、大きく使えたり小さく仕切れたり、共用や転用など柔軟に対応できる施設配置
- 防火、防音、空調効率のほか、エコや通信など多角的な視点で教室配置を行い、設備や資材、配管の検討を行うなど、未来につながる環境整備
- 将来にわたり長く使い続けられるよう、メンテナンスしやすく、全体としてエネルギー消費の少ない施設整備
- ふるさとの自然に溶け込む佇まいで、生徒が誇りをもち、地域住民の心の拠りどころとなるような特色の検討（構造、建材、屋根、外観等）

第7章 改築に向けた業務の進行

1. 主な日程の予定

■策定期間（平成31年2月～令和2年2月）

改築基本構想・基本計画策定

■準備期間（1年程度）

耐力度調査等の現在校舎の調査

事務調整（役場内・島根県・文部科学省等）・・・・・・・・・・必要に応じ完成まで随時

その他調整（地元・関係機関等）・・・・・・・・・・必要に応じ完成まで随時

■設計期間（1年程度）

基本設計、実施設計

■建築期間（3年程度）

新校舎・体育館の建築

旧校舎からの引越し

既存の校舎・体育館の解体撤去工事

校庭・外構・駐車場等工事

■新校舎使用開始

準備から使用開始までの期間は、他の自治体等の事例をもとにおよそ5年を見込む

2. 工事期間中の生徒への配慮

改築工事期間中においては、保護者や地域、近隣校を含めた多くの人たちの協力を得ながら学習や運動の場を確保するなど、生徒が可能な限り安定した学校生活を送れるよう、安全と学習環境に十分配慮します。

また、工事期間中だからこそ経験することのできる建設工程や役割分担、安全対策等を学習する機会の提供について配慮します。

第8章 関係者などからの主なご意見

1. 児童・生徒からの意見

小学生の児童や、現在の石見中学校に通っている生徒に対し、アンケート調査やワークショップを行い、ご意見、アイデアを頂いたものです。

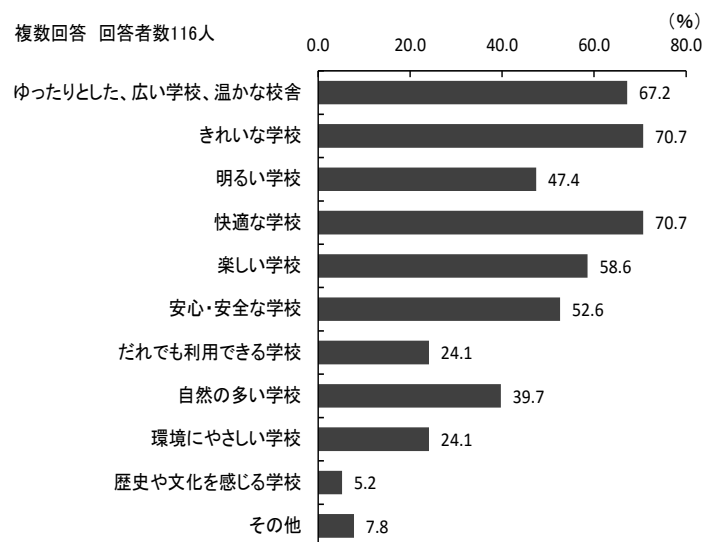
(1) 改善希望や新しい機能がほしい場所（主な意見）

	小学生	中学生
教室	ロッカーの数・大きさ、空調、教室間の防音、バリアフリー、床暖房	ロッカー、黒板（ホワイトボード）、空調
体育館	広い体育館、ジム、気候にあったもの、照明を明るく	広さ、空調、広いギャラリー、様々な協議への対応、トレーニングジム
トイレ	洋式トイレ、個室の数、自動水洗、臭わない、滑らない、LGBTの人のため男女問わず使える	各階にトイレ、自動洋式トイレ、臭わないトイレ、障がい者用トイレ、多目的トイレ
図書館	広い図書館、本を増やす、静か、本を読みやすく（照明・スペース）	広い図書館、本を増やす
階段・廊下	広い廊下、展示物が置けるように	広い廊下、階段の手すり（錆対策）、明るい廊下
衛生設備	手洗い場に消毒液	手洗い場
その他の設備	保健室のベッド数、エレベーターやバリアフリー、更衣室、色々調べられるPCルーム	エレベーターの設置、錆びない設備、ちゃんとした更衣室、校庭の照明、売店（コンビニ）、Wi-Fi環境
その他	屋上を使いたい、自習室、芝生、ワクワクする出入り口、校庭の木を増やす	屋上を使いたい、芝のあるベランダ、自習スペース、ソファでくつろげる場所、休憩ルーム、広い部室、ゴロゴロできる場所、電話できる場所、銅像等残して



石見中学校生徒ワークショップの様子

（２）どんな学校であればいいと思いますか？（中学生調査）



２．教職員からの意見

石見中学校の教職員に対し、新しい学校での将来の中学校教育の考え方等について、ご意見、アイディアを頂いたものです。

（１）授業のあり方や地域との連携・協働、部活動などについて

将来の授業など	家庭や個人でＩＣＴ機器を用いて、学習を進める環境がもっと整うことで、格差が生まれる可能性。 新しい技術や考え方によって、授業（教育）はよりアクティブなものになる。 一斉授業のような方法から、より個別的なものに個性をさらに伸ばすことができる教育と基礎・基本の定着の両輪
地域協働など	少子化が進む中で、地域にどう関わっていくのか。 生涯学習とクラブ活動の融合。 地域との協働による部活動の指導。
部活動など	部活動を社会教育へ移行。 地域との協働による部活動の指導。 少子化と指導員の働き方改革による部活動の縮小。

（２）教科センター方式導入の検討について

導入について	福井式のスタイルのほか、クラスが複数でも対応できるよう工夫が必要。同志社中スタイルも参照してはどうか。 県内の先駆けとして、導入する意味・価値はある。 教員が教材の部屋で待つことで、個に応じた対応がしやすくなりそう。
実施内容等	実現しなくても、各教委室に視聴覚的機器の設置を。 生徒が必要なものを持って移動するほうが、生徒の気持ちの切り替えや教員の負担軽減のためによい。 教育移動が多くなるため、物の管理がしやすいロッカーが必要。
教員の課題	職員室に教員が集まるほうが生徒の情報の共有がしやすい。 職員室にみんなが戻ることで自然と情報交換の場となっており、それが難しくなりそう。 各教職員間での連携・協働に支障が出るのではという不安。 教員間の連携やコミュニケーションが少し不安。

（３）充実させたいものや新たに必要な教室や場所など

空間	個別の指導室や相談室。放課後学習ができる自習室（机・イス）。 防音の相談室。クールダウンできる部屋（個室）数の確保。
教室	映写対応タイプの黒板。電子黒板。個人用ロッカーを大きく。全教室の冷暖房設備。
トイレ等 （衛生設備）	洋式トイレ、汚物が流せる設備、避難所対応のシャワールーム
その他	図書館を生徒の教室の近くに設置してほしい。 図書館とコンピュータ室を併設したメディアセンター、メディアルーム。 １つの部屋になっている多目的ホール（小ホールor中ホール）。 校内高速Wi-Fi環境。 ランチルームを設置して、全校生徒、教員が一斉に給食を食べられる。

（４）教育を行う上や勤務する上で新たに必要な教室や場所

空間	ミーティングができる場（会議室より気軽に、職員室内）。 保護者が生徒と面談ができる部屋。 職員室の近くに学習スペース。
教室	体育館に教員の部屋（教官室）。 教育相談が実施できる部屋や個別指導ができる部屋。
職員の環境	職員室内に印刷スペース。安心して休憩できる場所（職員室以外で）。 教職員の休憩室。

（５）その他

教育について	小中の義務教育学校の検討。 小規模校だからできる強みを生かす。
校舎について	体育館、音楽室、技術室への連絡通路のような下履きと上履きの人が交差しないような設計。

3. 保護者・地域住民からの意見

石見中学校生徒の保護者、学区の地域住民に対し、新しい学校についてのご意見やアイデアをおうかがいしました。

(1) 充実させたい場所、必要となる場所（主な意見）

	保護者	地域住民
教室	空調や明るさなど通年使いやすい。 活用しやすい掲示板。 使い勝手のよいロッカー	各教室でＩＣＴ機器を活用する。 グループ学習のできる空間。 空調完備。机・椅子を最新のものに。 文科省の教育要領の完全踏襲は必須。 壁、床、内装、照明を明るく。 少子化を見据えた教室づくり。
体育館	部活動で使える屋内練習場。複数の部 が同時に活動できるような屋内練習場。 バレーボールやバスケットボールの 大会ができる施設。 トレーニング室の設置。	町民も利用できるようにする。 避難所として機能を考えた体育館。 ２階ギャラリーを広くし、階段だけ でなく車椅子での上り下りも可能。 観戦するフロアの確保。 空調完備
トイレ	綺麗で清潔感のあるトイレ。 車椅子用トイレなどの設置。 大人も使える洋式トイレ。 一部和式も残す。 ＬＧＢＴの子にも配慮した環境	身障者にも利用しやすいトイレ。 水洗、洋式にする。 避難場所としても誰もが利用できる。 清潔。手洗い場の充実。 現在の社会にマッチした設備。
図書館	ゆっくり本が読めたり学習できるスペース。 生徒がよく通る場所に設置してほしい。 中学生向け以外の本も設置する。	
階段・廊下	広さ・材質・傾斜角等安全に配慮。	
衛生設備	感染症予防のための手洗い場。	
その他の 設備	自由に勉強できるスペース。 各特別教室の充実。 防寒設備の充実した更衣室。 全館空調。 ホッとできる場所（フリースペース）。 リラックスできる場所（ゆとりの部屋）。 先生と生徒が安心して話せる部屋。 松葉づえや車いすでも移動しやすい環境（エレベーター、スロープ）。 校庭に木陰や東屋。 外灯等の灯りの設置。	使いやすいパソコン室の充実。 他校と交流できるコンピュータ室。 全校が集まれる空間。 教室とは違うコミュニケーションの場。 全員が集えるランチルーム。 全館空調完備。 生徒が憩い集える場所。 明るくプライバシーを重視する更衣室。 駐輪場の整備。 Wi-Fi環境の充実。 地域の方と交流や、自由に出入りできる部屋。

	L G B Tの子にも配慮した更衣室	
	保護者	地域住民
その他	水道の凍結防止。 普通に使える安全性に配慮。 全体に気持ちのいい環境に。 生徒が植物の栽培や観察ができる。 等。	まず、先生が元気で余裕があること。 車椅子移動など、学習がしやすいように（ユニバーサルデザイン）。 校舎全体を考えた植樹をしてほしい（①清掃や剪定が安易にできること、②教育環境に適した樹木の選定）。 耐震や火災等に対する設備の充実。 シャワー室や、防災用品ストック、太陽光発電など、避難所環境を考慮。 校内敷地内で、乗降できるバス停。

4. 地域住民ワークショップからの意見

石見中学校の改築に関心のある町民に集まっていただき、それぞれ5つの基本的な方向性ごとに自由なご意見をいただきました。

（1）ワークショップの概要

実施日時：令和2年2月2日 13時より

実施場所：矢上公民館

参加者数：約60人（地域住民他）

（2）実施テーマ

5つのテーマにつき2テーブルを設定し、10テーブルに分かれて自由な議論を行いました。

また順次席替えを行い、すべてのテーマについてご意見をいただく機会を設けました。

1. 生徒・教職員・地域住民の安全、安心、安定に配慮した学校づくり



1. 生徒・教職員・地域住民の安全、安心、安定に配慮した学校づくり

安全				配慮した学校づくり				安定			
保護者、関係者の車が出入りする際、	通学の安全のためにバス停に配慮する	ID	避難経路を表示	職員室から教室の様子が見える	校舎内への進入経路を限定した学校	正面入口の傾斜を緩くする	外から中、校舎内がよく見える、様子のわかる学校	多様な性に対応した学校	視覚刺激の少ない教室・学校	シンプルな校舎	校舎は平屋建てで良いのでは
保護者の出入りも安全にできる進入道路、駐車場	車で送り迎えしやすい場所	不審者に対する対策	セキュリティ	外から見える	バスのロータリーを敷地内に？	学校付近の歩道作成	外からも見える（侵入者、いじめ等）				
災害対策	バリアフリーに配慮した校舎	オープンだけどセキュリティはしっかりカメラ（外向き）	防犯対策がしっかりした建物	広い駐車場	バス・車が安全に出入りができる	バス・車が安全に出入りできる	外から中、校舎内がよく見える、様子のわかる学校				
災害に対してシェルトー	校舎のバリアフリー化	保健室入りやすい設備の整った	外部から入ってこられる戸は2か所程度	車寄せ	外灯の設置	外灯の設置	外から中、校舎内がよく見える、様子のわかる学校				
災害の際の避難場所になると良い（緊急のみ）いつでも避難できる備蓄品が入るスペース	バリアフリー化	相談室は防音	死角の少ない校舎	個別学習ができる場	同じ学習ができる環境	英語活動の協働	地域と協働	落ち着いた色合いの教室・校舎	冷暖房に配慮した校舎	シックハウス対策	床は木
シャワー室、水、避難場所、備蓄倉庫	バリアフリー	困ったこと、心配事、何かあった時の窓口	冬暗くなっても見えやすい（光、バリアフリー）	クールダウンできる場	個別学習ができる場	学校カフェ地域（運営）夜はBAR	職員の入口は自動にする（生徒が入りやすい）				
災害時に避難所として機能する学校バリアフリー、エアコン、トイレ	バリアフリー	小中高一貫、一体的な学校づくり環境を作る	個別対応ができる部屋の確保	個別学習ができる場	英語活動の協働	地域と協働	安心して続けられる地域とともにある学校づくり安定している状況をつくる				
避難場所として日常生活できる体育館、教室を	相談室、カウンティングルーム	小中高一貫の学校造りを望みます	音に過敏な子どもへの配慮	地域との共有スペース	地域との共有スペース	地域との共有スペース	地域との共有スペース				
オール電化、電気がかわるもの	カウンティングルームの設置と充実さを創る進捗問題等	教職員の安定確保（学力、部活）	センター方式の失敗例を！	地域との共有スペース	地域との共有スペース	地域との共有スペース	地域との共有スペース	自由なレイアウト（自由に）	木々、小川	空調、教室、廊下、すべてに	木の温もりが感じられる

教職員との関係性 多様性（玄関も） 木の素晴らしさ！

2. 学びを育て、多様な交流を創出する学校づくり

モノ

パーティション	オープンスペース ↓ ランチルーム 学年交流、外部の人と	→ (学習) 地域の人もともに 学べる	入りやすい職員室 入口を自動ドア化	小ホワイトボード ベンチ&テーブル	学校カフェ
トイレを洋式に	学びが育ち、交わりが 活発になる 「スコアボード」のよ うな掲示板があると いいのではないか	ミーティングテ ーブル	生徒の自主的な話し 合いが常時開ける部 屋やカフェテリアが あるといいのではな いか	タブレット	情報ボード
	自販機の設定 ベンチでの対話 (広場)	Wi-Fi電波が届く校 内に	ベンチ	PCを利用し学べ る (各教室)	
	雨 (雪) の日の安全 を考慮	ICT環境の充実 (LAN)	すべてホワイトボ ード		

つながる

地域交流のスペース	実技教科 (音楽、技 術家庭など) で地域 の方のサポートを 受ける	海外交流 国際交流	いろいろな職業の 方 (地元) を招いて の学習 (キャリア教育)
石見地域の伝統的な ものづくりまたは神 楽等、地域の人たちと 学ぶ。竹細工など	教科センター方式に ついて小学校や高校 はどうなるか? 一貫 した教育となるか、な じめるか	クラブ活動などで 地域の方を十分に 活用する	教員と生徒 ↓ 教科交流 C はおも しろい
	授業の開放	部活に一般の人も 参加するように (趣味の交流)	地域の人が使える 設備 (体育館)
		体育館の拡張 (全天候型)	オープンスペ ース

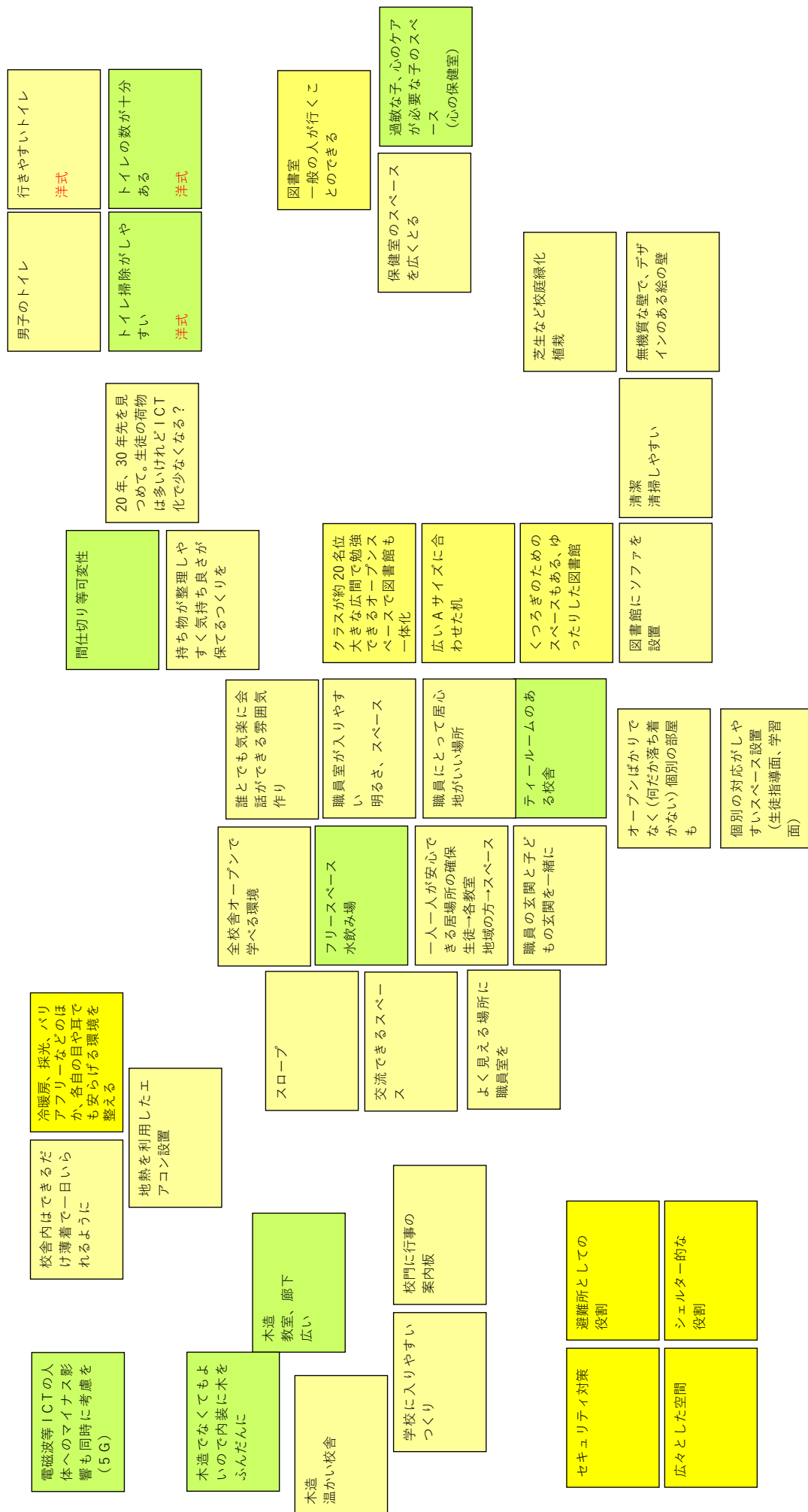
空間

保健室は校庭から も入れられるように	学校に入る道を広 く取る	放課後に復習がで きるような動画ル ーム	芝生の広場を作り、 交流を深める	仕切りのない教室 (可動式) (収納)	体育館とつなが った校舎	先生の休息の場	バリアフリー	学校と地域、世界 ↓ ICT機器の充実 (いろいろな所で)	生徒の動きが見え やすく 隠れやすい
	図書館は1階に	一人で集中して使 える図書エリア	部活動の再検討 需要が高いもの それに依る施設	教科センターのあ り方 すべてに適用は	創造と交流の場と しての多目的スベ ース	生徒と生徒 ↓ 図書館 (メディア C) を交流の場に (学年を越えて)	教員と教員 ↓ 職員室の位置と協 議スペース、休憩室 の工夫	スペースを限らず どこでもできる マルチパーパス	グループをつくり やすい装置
	教科センター◎	交流広場	既存部活動以外の 活動を学べるスベ ース (地域のポラン ティアによる)	現在2クラスずつ あるが、教科教室は 2つできる?	校舎内ユニバーサ ルデザインを考え に基づくこと	掲示スペースを多 く	世界とつながって いる、世界の動きを 感じられるような 場所	地域の人も集える スペース (公民館 的) があるとうい	オープン = 交流か もしれないが、なん だか落ち着かない
			プレゼンルーム	扉のない教室	地域の人が自由に 使える多目的ホー ル (生徒も出入り自 由)			中高一貫校的なも の 生徒のレベルに合 った授業	

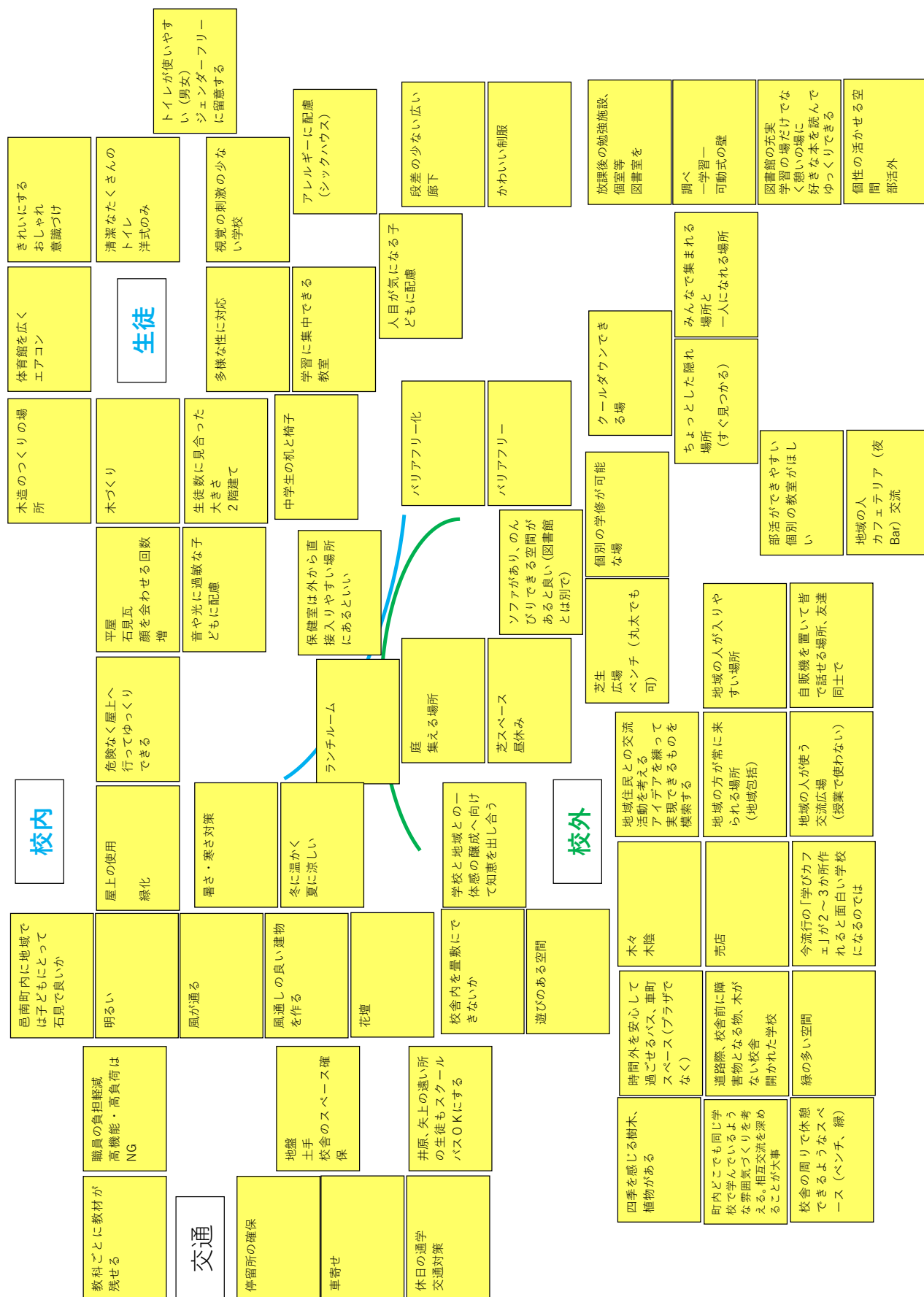
2. 学びを育て、多様な交流を創出する学校づくり

交流は学校側から地域へ発信させるべきではないでしょうか	地域の人がいられる交流スペース	外部講師との関わりがスムーズにできる空間づくり	音が気になるこのため授業はオープンスペースでない空間がいい	給食時間の共有
いつでも授業参観	地域の人の交流	伝統行事を通して全学年で交流する		校舎全体オープンにした学校づくり
教科ごとにその教科らしい空間づくり	地域の皆様との交流学習会			教科センター方式には賛成するが、オープンでは気が散る
		充実した図書館各教科の資料学習センターだけではなくので	各教科で自由な教室が選べる自分の進度、理解度に合わせて選べる(全学年)	石見中のみでなく町内全域から通学できる方法を考えるスクールバスの必要性が必要
他の学校との交流	学校を越えた部活動外部→プログラミング部↓別 \ 別 \ 別	ICT環境対応(ＰＣルーム)	メディアルームの一環としての図書館とパソコンルーム・学習ルームが連動した空間づくり	地元との交流を大事に
	校地全体を学びのフィールドと考え、環境、Wi-Fiエリア	全生徒にてパソコンで学べるように		センター方式をとって個性を大事に！大・小の空間を
			学校にオシヤレは必要ない	大会が開催できる施設が何かできないか
				開放感が味わえる屋上
				クールダウンできる場
				音に過敏な生徒へ配慮した学校
				和室クラブを地域の人が指導が指導茶華道
				福井の学校ステキ！
				個別学習のできる場
				全行が集えるホール
				国際感覚を育てる国際他国との交流
				多様性が学べる福祉交流をもっと！
				学校間留学
				視覚刺激の少ない学校
				教科の特性に応じた個室の設置
				人目が気になる生徒に配慮
				福井の学校ステキ！
				個別学習のできる場
				全行が集えるホール
				国際感覚を育てる国際他国との交流
				多様性が学べる福祉交流をもっと！
				学校間留学
				視覚刺激の少ない学校
				教科の特性に応じた個室の設置
				人目が気になる生徒に配慮
				福井の学校ステキ！
				個別学習のできる場
				全行が集えるホール
				国際感覚を育てる国際他国との交流
				多様性が学べる福祉交流をもっと！
				学校間留学
				視覚刺激の少ない学校
				教科の特性に応じた個室の設置
				人目が気になる生徒に配慮
				福井の学校ステキ！
				個別学習のできる場
				全行が集えるホール
				国際感覚を育てる国際他国との交流
				多様性が学べる福祉交流をもっと！
				学校間留学
				視覚刺激の少ない学校
				教科の特性に応じた個室の設置
				人目が気になる生徒に配慮
				福井の学校ステキ！
				個別学習のできる場
				全行が集えるホール
				国際感覚を育てる国際他国との交流
				多様性が学べる福祉交流をもっと！
				学校間留学
				視覚刺激の少ない学校
				教科の特性に応じた個室の設置
				人目が気になる生徒に配慮
				福井の学校ステキ！
				個別学習のできる場
				全行が集えるホール
				国際感覚を育てる国際他国との交流
				多様性が学べる福祉交流をもっと！
				学校間留学
				視覚刺激の少ない学校
				教科の特性に応じた個室の設置
				人目が気になる生徒に配慮
				福井の学校ステキ！
				個別学習のできる場
				全行が集えるホール
				国際感覚を育てる国際他国との交流
				多様性が学べる福祉交流をもっと！
				学校間留学
				視覚刺激の少ない学校
				教科の特性に応じた個室の設置
				人目が気になる生徒に配慮
				福井の学校ステキ！
				個別学習のできる場
				全行が集えるホール
				国際感覚を育てる国際他国との交流
				多様性が学べる福祉交流をもっと！
				学校間留学
				視覚刺激の少ない学校
				教科の特性に応じた個室の設置
				人目が気になる生徒に配慮
				福井の学校ステキ！
				個別学習のできる場
				全行が集えるホール
				国際感覚を育てる国際他国との交流
				多様性が学べる福祉交流をもっと！
				学校間留学
				視覚刺激の少ない学校
				教科の特性に応じた個室の設置
				人目が気になる生徒に配慮
				福井の学校ステキ！
				個別学習のできる場
				全行が集えるホール
				国際感覚を育てる国際他国との交流
				多様性が学べる福祉交流をもっと！

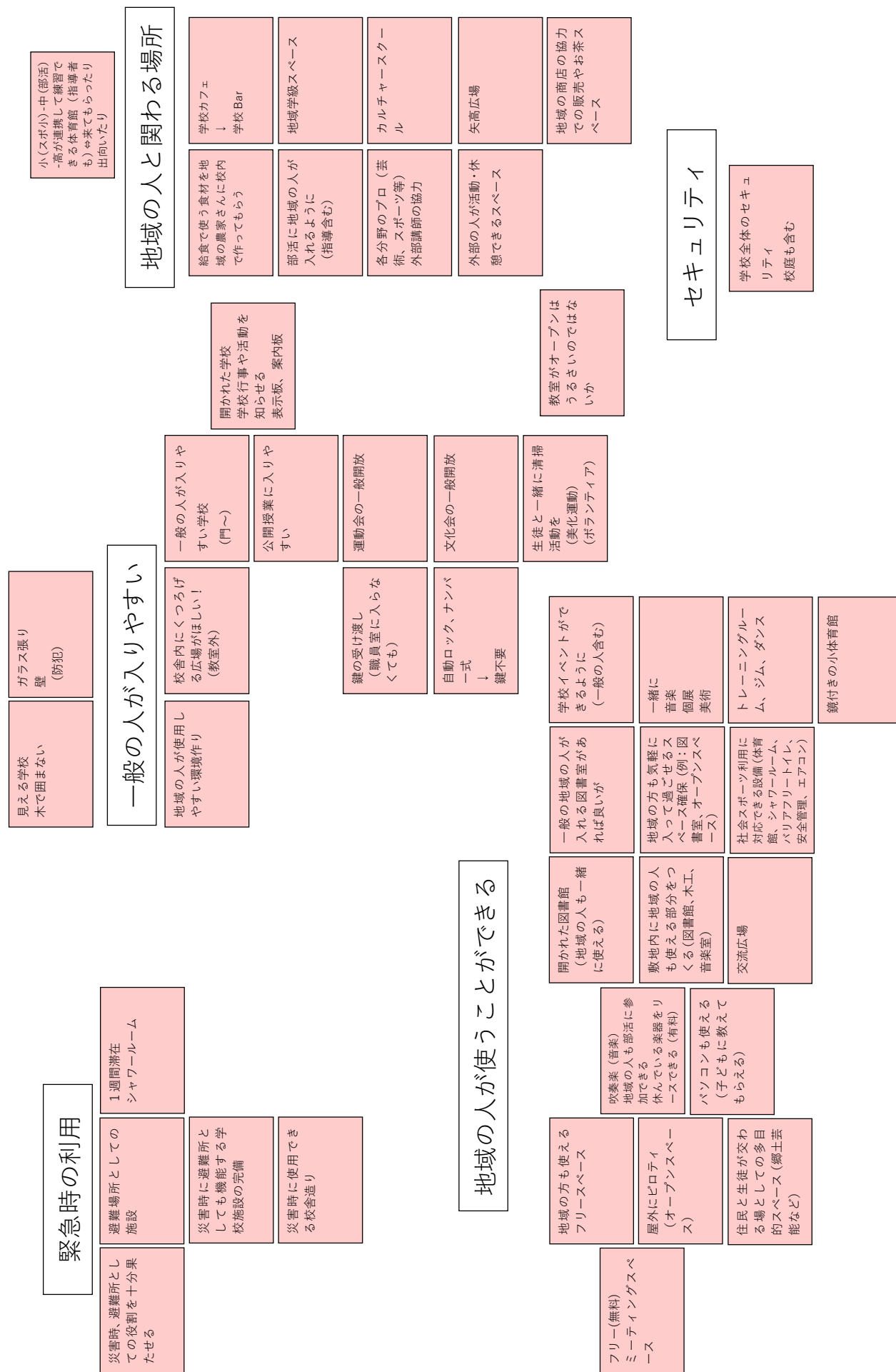
3. だれにとっても居心地よく、のびのび過ごせる学校づくり



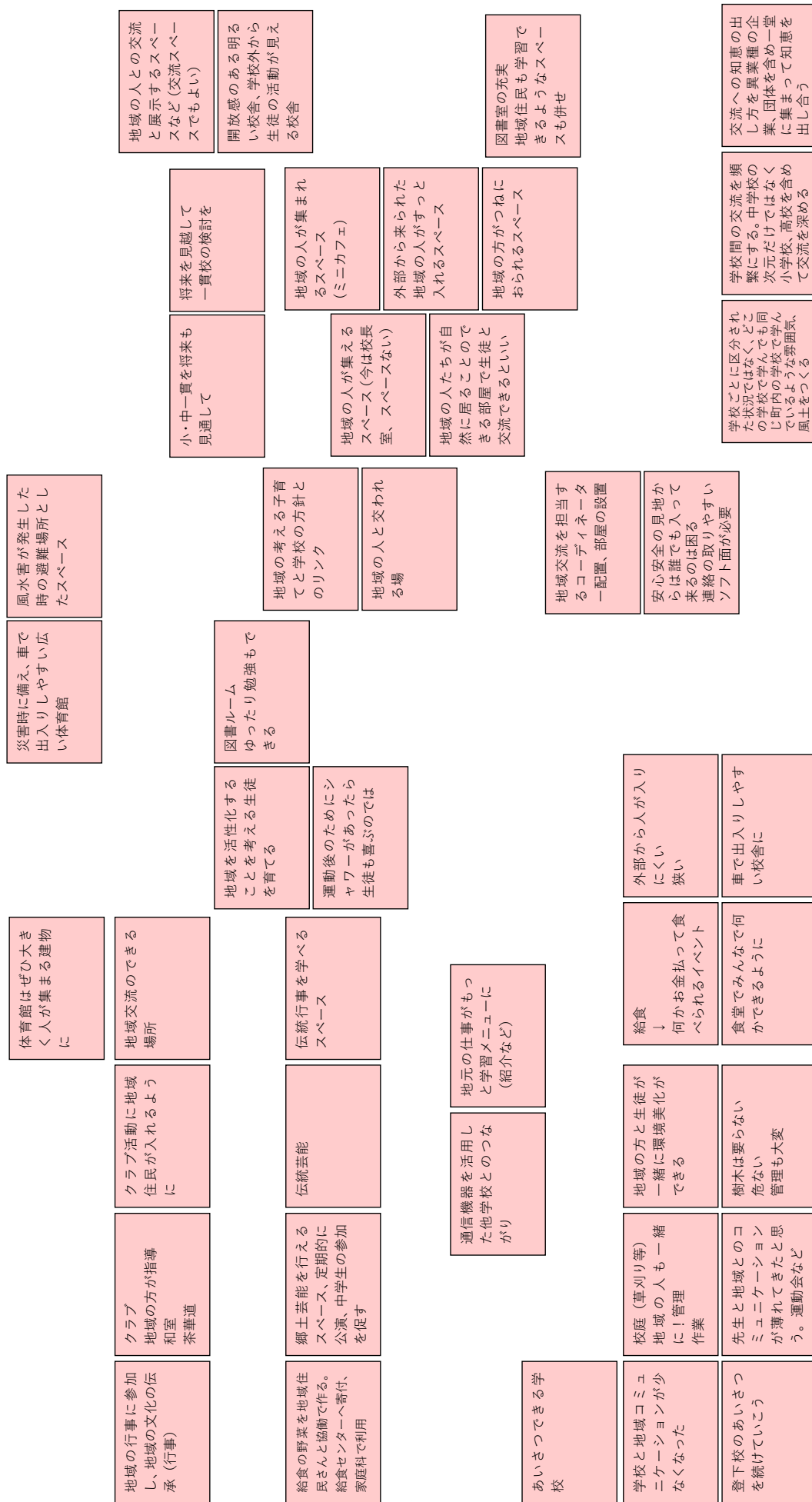
3. だれにとっても居心地よく、のびのび過ごせる学校づくり



4. 地域と協働する開かれた学校づくり



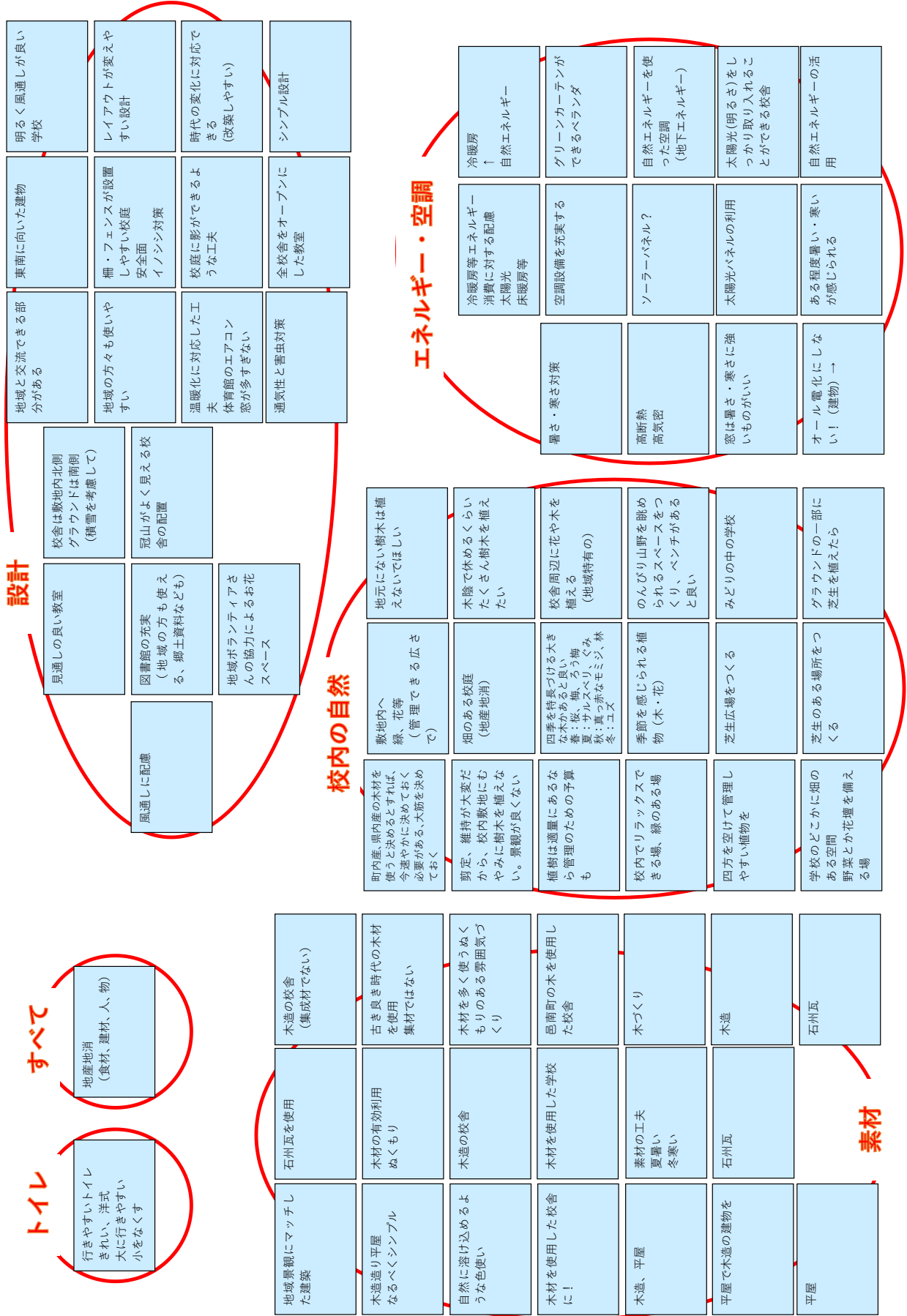
4. 地域と協働する開かれた学校づくり



5. 環境や風土に配慮した学校づくり

平屋造り	芝生	芝生	草食動物	感染対策	木 木のぼり	校舎の周りに四季に 咲く花を植えてあげ てください	ビオトープ	シジミの住む水路
広い庭	芝生	芝生	ニワトリ（チャガ） の飼育場	カフェテリア →雑談の中にアイ デア出す	畑 地域と協働して栽 培→販売	赤瓦	ビオトープ	小水力発電による電 力供給
子どもが道路に飛 び出さない造り	ごみステーション	入口付近を広く見 えやすく	地産地消	自然光や新鮮な風(空 気)が流れる 季節の移り変わりの 中で過ごしやすい環 境→エネルギーコスト	果物樹木	箱屋根はやめて 雨漏りする	ソーラー 瓦	笑顔であいさつがで きる環境づくり
この石見の力地球 環境の保全を代表 するよう な校舎 を！	駐車場 車周り (迎えの保護者が 来る)	於保知盆地を代表 する、表現する校舎 になるとおもしい	雨水が利用できる (水やりとか)	直射日光が当たら ない (日陰の利用)	赤瓦が映える校舎	ランニングコストも 考えて！	ソーラー	グラウンド、体育館 の建築中の取り扱い
	オーブンスペース より確立された教 室	手洗い場 (数が十分ある)	自然の風が入るよ うな校舎 (エアコン省エネ)	凍結しない水道	アレルギー対応	木造校舎	水路 (池は×)	有名な建築家にお願 いする
	石見伸楽テイスト のある校舎	スロープをつける	太陽光発電に配慮 した施設	明るい	オール木造	建材 町産材の利用	屋根瓦(赤)を使った 建物	
	木造校舎 コンクリート校舎 平屋・2階 今の場所	福祉を身近に感じ る環境(車いす)(視 覚)(聴覚)など	図書室を中心とし た調べ、学習の場	風通しが良い	管理しやすい仕様 アフターメンテナンス しやすい	耐震、免震	風力発電	
		2階であればエレ ベーター 平屋であればスロ ープ	トイレの水 (雨水使用)	日が当たるのはいい が、明るすぎるの も大変になる	温かみのある木材使 用	暖色系の灯りを採用 する(部屋によって は光量を上げる)		

5. 環境や風土に配慮した学校づくり



第9章 資料編

1. 石見中学校校舎改築検討委員会の設置要綱

○石見中学校校舎改築検討委員会設置要綱

平成31年2月21日
教育委員会告示第4号

(設置)

第1条 石見中学校校舎の改築整備にあたり、より良い校舎整備を検討し、その円滑な推進を図るため、石見中学校校舎改築検討委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(所掌事項)

第2条 委員会は、基本構想の策定に関し、次に掲げる事項について協議及び検討を行い、その結果を教育委員会に報告するものとする。

- (1) 石見中学校建設に向けた学校の基本的な運営に関すること。
- (2) 石見中学校建設に向けた施設の規模、機能、内容等に関すること。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、基本構想に関し必要な事項

(委員)

第3条 委員会は、15名以内の委員をもって組織し、次に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱する。ただし、欠員が生じた場合は、後任者を補充する。

- (1) 邑南町議会の代表者
- (2) 石見地域の代表者
- (3) 石見地域学校教職員の代表者
- (4) 石見中学校PTAの代表者
- (5) 石見地域小学校PTAの代表者
- (6) 学識経験者
- (7) その他教育長が必要と認める者

(委員長・副委員長)

第4条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

2 委員長及び副委員長は、委員の互選によって選出する。

3 委員長は会議を主宰する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代理する。

(会議の招集)

第5条 委員会の招集は、必要に応じ委員長が行う。

(費用弁償)

第6条 この委員会に要する費用は、邑南町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例(平成16年邑南町条例第43号)の規定を準用して支給する。

(事務局)

第7条 委員会の事務局を教育委員会学校教育課内に置く。

2 事務局の中に必要に応じてアドバイザーを置くことができる。

(委任)

第8条 この告示に定めるものの他、必要な事項は教育委員会が定める。

附 則

この告示は、平成31年2月21日から施行し、平成32年3月31日をもってその効力を失う。

2. 石見中学校校舎改築検討委員会名簿

(敬称：略)

石見中学校校舎改築検討委員会委員名簿

番号	名 前	所 属	備 考
1	辰田 直久	邑南町議会	
2	中村 昌史	邑南町議会	
3	山崎 昌雄	中野地区自治会長会	(中野地区自治会長会代表)
4	山下 政俊	有識者・学校教育	元島根大学教授
5	湯浅 孝史	有識者・建築関係	地域みらい課(定住促進課)
6	日高 禎治	有識者・行政関係	元邑南町職員
7	鳥居 清枝	公募委員	
8	伊達 一樹	公募委員	
9	樽田 真治	石見中学校長	
10	松川 成治	石見地域小学校長	矢上小学校長
11	志波 英樹(古居 晃)	矢上高等学校長	
12	森口 英司	石見中学校 PTA	P T A 会長
13	小林 礼治	石見地域小学校 PTA	矢上小学校

石見中学校校舎改築検討委員会アドバイザー

1	小林 圭介	矢上高校魅力化コーディネーター	ファシリテーター
2	上田 修	行政：建設課	
3	大賀 定(植田 弘和)	行政：農林振興課	

※名前・備考欄の()内は、平成31年2月現在

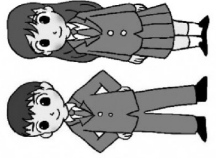
3. 計画策定の経緯

日 付	項 目	内 容
平成31年2月25日	第 1 回検討委員会	役員選出 改築に至った経緯 現状と課題
令和元年5月14日	第 2 回検討委員会	位置について 教育制度について スケジュール案等
令和元年 9 月～ 令和元年12月	小・中学生アンケート調査 中学生ワークショップ 保護者・地域住民アンケート調査	
令和元年11月27日	第 3 回検討委員会	計画の全体像の検討 小中学校アンケート結果
令和元年12月15日	教職員アンケート調査	
令和元年12月19日	第 4 回検討委員会	教科センター方式の説明 ワークショップの方法
令和2年1月21日	第 5 回検討委員会	基本理念・基本的な方向 性の検討
令和2年2月2日	地域住民ワークショップ	
令和2年2月18日	第 6 回検討委員会	基本構想・基本計画（案） の検討



地域住民ワークショップの様子

① 石見中学校生徒対象アンケート（令和元年9月10日～20日実施）



石見中学校校舎改築のための
アンケート調査

石見中学校は町内の小・中学校の中でも最も古いため、皆さんが学ぶ上で快適な学校となるように生まれ変わる予定です。新しい学校づくりの参考にするため、アンケートにお答えください。

回答は、選択肢の番号に○をつけてください。
記入欄には、思いついたアイデアを、自由にお書きください。

問1 あなたについて教えてください。

(1) あなたの学年（ひとつに○）

1	中学1年生	2	中学2年生	3	中学3年生
---	-------	---	-------	---	-------

問2 新しい学校はどんな学校であれればいいと思いますか？（主なもの5つまで○）

新しい学校のイメージ		例えば・・・
1	ゆったりとした、広い学校 温かな校舎	木をたくさん使った広い教室、広い廊下やくつろぎコーナーがある
2	きれいな学校	清潔できれいな教室・トイレなど
3	明るい学校	窓や天井から太陽の光を取り入れた明るい校舎、明るい色の壁や床
4	快適な学校	クーラーや暖房がある、まわりが静か、ながめが良い風通しが良い
5	楽しい学校	友だちと楽しく過ごせる場所がある 図書館など、みんなで学ぶ施設や設備が充実している
6	安心・安全な学校	不審な人が学校に入れないようにする 災害（台風や地震など）に強い
7	だれでも利用できる学校	保護者やお年寄り、体の不自由な人も利用できる 地域の人やボランティアの人も活動できる
8	自然の多い学校	芝生のある広場、花だんや木がたくさんある
9	環境にやさしい学校	省エネに取り組む、緑のカーテンを作る、 太陽光や雨水を有効に使う
10	歴史や文化を感じる学校	邑南町の歴史や文化を大事にする 神楽の練習などができる
11	その他 ()	(自由に記入)

石見中学校生徒の皆さんへ

邑南町教育委員会
(学校教育課)

石見中学校校舎改築に関するアンケートのお願い

体育祭も終わり、生徒の皆さんにはいよいよ勉強に、部活動に読書等に頑張っておられること
と思います。

さて、教育委員会では、皆さんに大切に使用していただいています。校舎の建て替えの計画を進め
ていきます。いまの校舎は昭和41年に旧石見町の四つの中学校(日貫中学校、日和中学校、矢上
中学校、邑智中学校)が統合し建設されました。

建設から早、50数年が経とうとしています。これまでサッシやトイレの一部、体育館の床な
ど改修・修繕をしてきましたが、電気系統、水道系統など、目に見えない部分にも相当の老朽が
進んできており、皆さんにも迷惑をかけています。

皆さんによりよい環境で学習等に取り組んでいただくために1日も早い改築をしたいと考えて
います。

そこで、この校舎で生活している皆さん方から意見をうかがい、新しく建てる校舎に反映させ
たいと思います。

新しい校舎が建つのは、皆さんが卒業した後になると思いますが、皆さんのきょうだいや後輩
のためにも是非、力を貸してください。

質問は全部で4枚あります。それぞれの用紙に記入してください。

記入例

トイレ			
		「ほっと」 する場所 好きな場所	

九つのわくの中心に質問が書いてあります。
まわりの8つのわくの中に答えを書いてください。
できるだけ、わくをうめてください。
答えの位置に優先順位はありません。

①石見中学校生徒対象アンケート

石見中学校 校舎改築アンケート

	問い① いまの校舎で 「ホッとする」場所 (好きな場所) はどこですか？	

まわりの8わくに答を書いてください。できるだけ、わくをうめてください。

石見中学校 校舎改築アンケート

	問い② いまの校舎で 「直して欲しい」場所 (きらいな場所) はどこですか？	

まわりの8わくに答を書いてください。できるだけ、わくをうめてください。

①石見中学校生徒対象アンケート

石見中学校 校舎改築アンケート

	問い③ 新しい校舎に 「付け加えてほしい」 場所または教室 を書いてください。	

まわりの8わくに答を書いてください。できるだけ、わくをうめてください。

4

②児童対象アンケート（令和元年10月10日～25日実施）

児童の皆さんへ

文書1

邑南町教育委員会
(学校教育課)

石見中学校の「新しい校舎」についてのアンケート

石見中学校の校舎は、いまから50数年前、旧石見町にあった四つの中学校(日貫中学校 日和中学校 矢上中学校 邑智中学校二軒中と井原中の統合校)の統合中学校として、いまの位置に建設されました。

皆さんの先ばいたちがとても大切にきれいに使ってくれましたが、いろいろなところが古く、いたんできました。

皆さんの学ぶ環境をもっと整備するため、いまの石見中学校の校地内に新しい校舎を建て替える計画をすすめることにしました。

どんな校舎にしたら「通いたい校舎」になるのかなど、皆さんの考えを聞かせてください。

皆さんが中学生になるまでには間に合いませんが、きょうだいや後はいたちのためにぜひとも力を貸してください。

資料④ 小学校用アンケート
(10/25回収予定 矢上小、日貫小、石見東小)
記入の仕方

みんなで、
夢ある

中学校校舎をつくらう!!

もし、あなたが設計士ならどんなところを「ステキ」にした設計にしますか。

①いま、かよっている学校でおおして欲しい教室や場所

②いま、かよっている小学校にもあるけども「ステキ」な場所にしてほしいところ

③いま、かよっている小学校にはないけど、新たにをつくってほしい教室や場所

④みんながかよいたくなくなる「夢ある校舎」にするために

書き方の例

類別	教室や場所	あなたの考え
①	教室	教室の後ろにあるロッカー(カバンなどを置く場所)がとてでもせまいので広くして欲しい
②	図書館	もっと、広くてわくわくする場所にしてほしい。
③	更衣室	高学年になると必要だから
④		車イスで教室でもトイレでもどこでも行ける学校にしたい。

「あなたの考え」がない場合は、「場所や教室」だけでもかまいません。
できるだけ、たくさん教えてください。また、絵で表す場合は用紙のウラにかいてください。

②児童対象アンケート

学校名() 学年() 名前() 回答用紙

類別番号 ①～④	教室や場所の 名前	あ な た の 考 え

できるだけたくさん教えてください。「あなたの考え」がなくてもだいじょうぶです。
④については、「教室や場所の名前」がなくてもよいです。絵にする場合はウラにかいてください。

新しい学校について 「ベスト10!」

先日は校舎改築のアンケートに協力していただきありがとうございました。結果について多かつた内容をまとめました。中学生のみなさんが校舎に「きれいな校舎」「快適」を求めていること、教室や体育館などのように「好きな場所」「直して欲しい場所」の両面をもった場所もあることがわかりました。

新しい学校はどんな学校であればいいと思いますか？

順位	回答内容
1	きれいな学校
1	快適な学校
3	ゆったりとした広い学校、温かな校舎
4	楽しい学校
5	安心・安全な学校
6	明るい学校
7	自然の多い学校
8	環境に優しい学校
8	誰でも利用できる学校
10	歴史や文化を感じる学校



ホッとする場所「好きな場所」はどこですか？

順位	回答内容
1	図書館
1	教室
3	体育館
4	保健室
5	廊下
5	トイレ
5	校庭
5	コンピュータ室
9	理科室
9	美術室



直して欲しい場所(嫌いなところ)はどこですか？

順位	回答内容
1	トイレ
2	教室
3	体育館
4	更衣室
5	廊下
6	校舎のぼろい所
6	技術室
8	音楽室
8	床
8	壁



新しい校舎に付け加えて欲しい場所・教室は何ですか？

順位	回答内容
1	食堂・ランチルーム
2	屋内運動施設
2	ホール・ロビー、ラウンジ等
4	機能向上
5	廊下・階段等
6	教育相談室(心の教室)
6	屋外運動施設
8	プール
8	屋上
10	他多数



「こんな新校舎ができるといいな」

《学習のねらい》 ○ 石見中新校舎の希望やアイデアを出してみよう。

☆ 付せんを使って、自分たちの希望やアイデアを整理してみよう。

☆ 「大テーマ」

- ①図書館 ②教室(学級・特別教室) ③体育館 ④保健室 ⑤廊下 ⑥トイレ
⑦ランチルーム ⑧ホール・ロビー・ラウンジ ⑨ 教育相談室 ⑩更衣室

☆ 「フリーテーマ」

- グループで考えてみたい場所(「大テーマ」から選んでも良いし、他の場所でもOK)
例:「校庭」

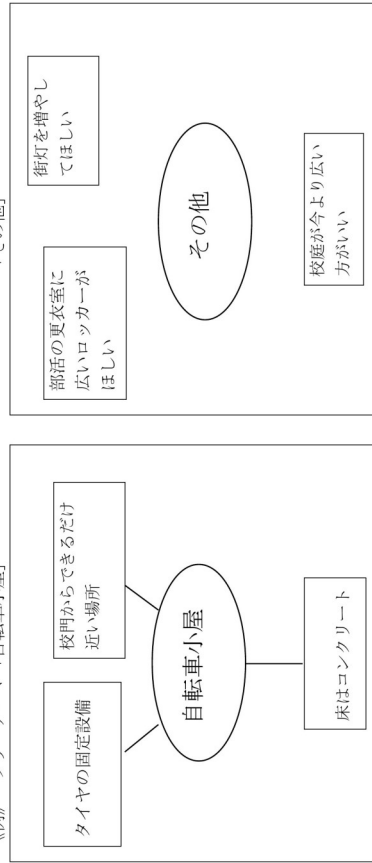
☆ 「その他」

- テーマ以外のことで、新校舎への希望(願い)などを書いてみよう。

《やり方の例》 テーマは2つ・・・「大テーマ」と「フリーテーマ」

- ① 紙の真ん中の○の中に大テーマを書く。
② 1人1人が付せんに希望やアイデアなどを書く。(1枚に1つずつ)
③ 紙に付せんを貼りながら、グループでまとめる。(仲間分けをする)
④ グループで考えた「フリーテーマ」についても同じようにしてまとめる。
⑤ 「大テーマ」「フリーテーマ」以外の希望などを付せんに書き、「その他」の紙に貼る。
⑥ グループの代表が特に希望したいことを1つずつ発表する。

《例》 フリーテーマ「自転車小屋」



○ グループで話し合いを進める「班長」と「まとめの発表者」を決めておく。

○ 大テーマは事前に各学級に振り分けておきます。

○ 皆さんの思いをまとめたものは、そのまま邑南町教育委員会に届けます。

実現するといいですね。

④石見中学校教委職員アンケート（令和元年１２月１５日実施）

教職員用アンケート

新校舎建築への意見

名前 () ()

これから10年、20年、そしてその先の教育(中学校教育)はどのように変わっていくと思いますか、あるいはあなたはどのように変えたいですか。

(授業のあり方や地域との連携・協働、部活などについて)

◎教科センター方式導入について

- 生徒の学校生活に関わって(充実させたいものや新たに必要なものなど)
- 教職員の働き方に関わって(教育を行う上や勤務する上で新たに必要なものなど)
- その他

石見中学校改築に関する意見

充実させて欲しい教室・場所

これから必要になると考えられる施設・場所

上記以外で改築に関わる意見

★今後のスケジュール
「石見中学校改築検討委員会」では、1月末から2月初旬に改築に関わるワークショップの開催を予定しています。
参加の依頼をさせていただく予定です。

石見中学校保護者の皆様
石見中学校区内小学校高学年保護者の皆様
邑南町教育委員会教育長
土居達也 様
石見中学校改築「基本構想」策定アンケート調査（依頼）

時下、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素より保護者の皆様方には、邑南町教育行政に対しまして、御理解・御協力いただいておりますこと、厚くお礼申し上げます。
さて、石見中学校は建設以来、50数年を経過しています。これまでにサッシ、トイレ、体育館の床等々改修を重ねてきましたが、電気系統、水道関係等老朽化が一層進んできています。こうしたことから、これからの教育のあり方に相応しい校舎の建設に向け、「石見中学校改築検討委員会」を設置するなど、校舎づくりの大元となる「基本構想」策定に取り組んでいるところです。
保護者の皆様方からのご意見をお聞きし、基本構想の策定に反映させたいと思います。なお忙しいとは思いますが、保護者の立場から考えたご意見を是非ともお聞かせください。なお地域の皆様方にもアンケートをお願いしています。同居されている皆様の意見を含めてお書きくださってもかまいません。
下表は、中学生と校区内5、6年生の意見をまとめたものですので、参考にしてください。1月14日までに学校へ提出くださいますようお願いいたします。

＜中学生アンケート結果＞			
順位	新しい学校はどんな学校がいい？	ホッとできる場所はどこ？	直して欲しい場所は？
1	きれいな学校	図書館	トイレ
2	快適な学校	教室	食堂・ランチルーム
3	ゆったりした広い学校、温かな校舎	体育館	屋内運動施設
4	楽しい学校	保健室	ホール・ロビー、ラウンジ等
5	安心・安全な学校	廊下	機能向上
6	明るい学校	トイレ	廊下・階段等
7	自然の多い学校	校庭	校舎のぼろい所
8	環境に優しい学校	コンピューター室	技術室
9	誰でも利用できる学校	理科室	音楽室
10	歴史や文化を感じれる学校	美術室	プール
※中学生にはこの結果を授けて直して欲しい教室等を表し、詳細について意見をのりました。			
			廊上 他多数
＜小学生アンケート結果＞			
順位	通いたく夢がある校舎にするために	もどきドキリにしたい場所は？	学校でなおして欲しい場所は？
1	電子黒板をつけてほしい	図書館	教室
2	エレベータをつけてほしい	教室	エレベータ、エスカレーター
3	全部の教室にエアコンを設置	トイレ	更衣室
4	タブレットPCを使った授業	図書館	ランチルーム
5	車いすの人も使いやすい学校	廊上	トイレ
6	明るく開放感のいい学校	POLルーム	自習室
7	階段にスロープをつける	廊下	バトン室
8	自由に出入りできる廊上	その他多数	スロープ
9	その他多数	その他多数	休憩室 その他多数

石見中学校改築に関する意見

石見地域の皆様
邑南町教育委員会教育長 土居 達也
石見中学校改築基本構想策定アンケート調査（依頼）

時下、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素より保護者の皆様方には、邑南町教育行政に対しまして、御理解・御協力をいただいておりますこと、厚くお礼申し上げます。
さて、石見中学校は建設以来、５０数年を経過しています。これまでにサッジ、トイレ、体育館の床等々改修を重ねてきましたが、電気系統、水道関係等老朽化が一層進んできています。こうしたことから、これからの教育のあり方に相応しい校舎の建設に向け、「石見中学校改築検討委員会」を設置するなど、校舎づくりの原点となる「基本構想」策定に取り組んでいるところです。
地域の皆様方からのご意見をお聞きし、基本構想の策定に反映させたいと思います。お忙しいとは思いますが、地域の目から考えたご意見を是非ともお聞かせください。下図は、中学生と校区内５、６年生の意見をまとめたもので、参考にしてください。
１月下旬の常会へ持ち出していただくか、公民館等に届けていただきますようお願いいたします。

＜中学生アンケート結果＞			
順位	新しい学校はどんな学校がいい？	ホッとする場所はどこ？	直して欲しい場所は？
1	きれいな学校	図書館	トイレ
2	快適な学校	教室	食堂・ランヂルーム
3	ゆつたりとした広い学校、温かな校舎	体育館	屋内運動施設
4	楽しい学校	保健室	ホール・ロビー、ラウンジ等
5	安心・安全な学校	廊下	機能向上
6	明るい学校	トイレ	廊下・階段等
7	自然の多い学校	校庭	教育相談室(6の教室)
8	環境に優しい学校	コンピューター室	屋外運動施設
9	誰でも利用できる学校	理科室	プール
10	歴史や文化を感じる学校	美術室	屋上
※中学生にはこの結果を受けて直して欲しい教室等についてワーキングアップを詳細について意見をつりました。			
＜小学生アンケート結果＞			
順位	新しい学校はどんな学校がいい？	ホッとする場所はどこ？	直して欲しい場所は？
1	電子黒板をつけてほしい	図書館	教室
2	エレベーターをつけ誰もが移動できるように	教室	エレベータ、エスカレーター
3	全館の教室にエアコンを設置	トイレ	更衣室
4	タブレットPCを使った授業	図書館	ランヂルーム
5	車いすの人も使いやすい学校	屋上	トイレ
6	明るく静画風のいい学校	POルーム	自習室
7	廊下にスロープをつける	廊下	パソコン室
8	自由に出入りできる屋上	その他多数	スロープ
9	その他多数	その他多数	休憩室

充実をさせて欲しい教室・場所

新たにづくって欲しい教室・場所

上記以外で改築に関わる意見

*今後のスケジュール
「石見中学校改築検討委員会」では、1月末から2月初旬に改築に関わるワーキングアップの開催を予定しています。